

飛んでスマート・クルーズ・アカデミー

シンガポール発着 2024年3月04-07日

@スペクトラム・オブ・ザ・シーズ



コースとスケジュール



Day 1	Fri	Mar 1	Singapore: EMBARK	Depart 4:00 PM
Day 2	Sat	Mar 2	Penang: DOCKED Arrive 4:00 PM	Depart 11:00 PM
Day 3	Sun	Mar 3	Cruising: CRUISING	
Day 4	Mon	Mar 4	Singapore: DEBARK Arrive 6:30 AM	

必ずパスポートコピーを2枚持参すること

★★★は全員参加、★★できるだけ参加、★参加推奨

クアンタムクルーズ@シンガポール(2024)の詳細スケジュール

No.	Date	場所	Time	スケジュール	会場(予定)
1	3月4日 (月)	シンガポール マリーナベイクルーズセンター	10:00	★★★Visitor Centre of Marina Bay Cruise Centre 集合+自己紹介	Visitor Centre
			11:00ごろ	乗船	乗船口
			乗船後	★★★ドリル(船内ビデオを見て15:00までに、避難場所をチェックアウト)	避難場所
			適宜	ランチ(各自)	ウインジャマカフェ(14F) Cafe@TWO70(5F後方)
				自由行動(船内散策、お茶会)	ウインジャマカフェ(14F後方) ソレントス(ピザ)(14F中央) Cafe@Two70(5F後方) ドッグハウス(15F後方)
			13:45	★★★全員参加バンパー大会(間に合わなければ、遅れて随時到着OK)	SEAPLEX(15F後方)
			15:00	★★★全員参加 船内説明会	STAR MORMENT(4F中央)
			15:30	ピザタイム、ホットドッグタイム(希望者)	ウインジャマカフェ(14F後方) ソレントス(ピザ)(14F中央) Cafe@Two70(5F後方) ドッグハウス(15F後方)
			17:00まで	★推奨(ジム・プール・ウオータースライダー(17:00まで)、フローライダー、ロッククライミング:初日は混まない)	ジム(13F前方) スポーツ(15F・16F後方)
			16:00	出港(出港シーン見学)	デッキ
			17:15	★★★コースディナー(ファーストシーティング)	指定レストラン場所(3.4F)
			19:15	★メインショー(Show Girl) 時間は船内で再確認	ロイヤルシアター(4F前方)
			20:15	開催内容時間不明 船内で確認	TWO70(5F後方)
			ナイトタイム	(ダンス・ジム・プール(ソラリウムは20:00まで、インドアは23:00まで))	ジム(13F前方) プール(14F)
			21:30	★メインショー(Show Girl)(2回目) 時間は船内で再確認	ロイヤルシアター(4F前方)
			22:30	開催内容時間不明 2回目 船内で確認	TWO70(5F後方)
			23:15	★参加推奨 おしゃべりの会	ソレントス(ピザ)(14F中央)
2	3月5日 (火)	ベナン	8:00	朝のお散歩(自由参加)	ランニングトラック(15F)
			8:30	朝食(各自)(11:00まで)	ウインジャマカフェ(14F) Cafe@TWO70
			9:15	★参加推奨 モーニングエクササイズ	ロイヤルエスプラネード(4F)
			午前	船内を楽しむ (ジム・プール・ウオータースライダー、フローライダー ロッククライミング)	ジム(13F前方) プール(14F) スポーツ(15F・16F後方)
			11:30	★参加推奨:ランチ	STAR MORMENT前(4F中央)
			午後	船内を楽しむ (ジム・プール・ウオータースライダー、フローライダー ロッククライミング)	ジム(13F前方) プール(14F) スポーツ(15F・16F後方)
			14:30	★参加推奨 カフェタイム	Cafe@TWO70
			15:00	★★★全員集合 ベナン島入港(15:30下船開始)	STAR MORMENT前(4F中央)
			15:30	島内自由行動(20時までに船内に戻ることを強く推奨)	ベナン島
			20:00	パッフェでディナー	ウインジャマカフェ(14F)
			20:00	★メインショー(Starring Funny Bones) 時間は船内で再確認	ロイヤルシアター(4F前方)
			ナイトタイム	(ジム・バンパーカー(21:00まで) プール(ソラリウムは20:00まで、インドアは23:00まで))	ジム(13F前方) プール(14F)
			20:30-22:00	★推奨(星空の下のロッククライミング)	スポーツ(15F後方)
			21:00	★★★サブメインショー(Silk Road):終了後すぐに出口のNEXTCRUISE付近で集合	TWO70(5F後方)
			22:00	★メインショー(Starring Funny Bones)(2回目) 時間は船内で再確認	ロイヤルシアター(4F前方)
			22:30	★サイレントPARTY	TWO70(5F後方)
			23:15	★参加推奨 おしゃべりの会	ソレントス(ピザ)(14F中央)
3	3月6日 (水)	洋上	8:00	朝のお散歩(自由参加)	ランニングトラック(15F)
			11:00まで	朝食(各自)(11:00まで)	ウインジャマカフェ(14F) Cafe@TWO70
			8:30	★★★全員参加 バンパー大会第二弾	SEAPLEX(15F後方)
			8:00-10:00	★★★クルーと参加学生のディカッション(30分程度)(詳細は、前日夜に告知)	STAR MORMENT(4F中央)
			9:15	モーニングエクササイズ	ロイヤルエスプラネード(4F)
			10:00	船内を楽しむ	
			11:30	(バンパーカー(11:30まで)、ジム、プール、ウオータースライダー、 フローライダー、ロッククライミング)	ジム(13F前方) スポーツ(15F・16F後方)
			11:30	★参加推奨:ランチ	STAR MORMENT前(4F中央)
			13:00	船内を楽しむ (ジム、プール、ウオータースライダー、フローライダー、ロッククライミング、 バスケットボール大会(14:00までにサインアップ時間要確認))	ジム(13F前方) スポーツ(15F・16F後方)
			15:00	★参加推奨 カフェタイム	Cafe@TWO70
			16:30	★★★フォーマル写真撮影	ジェイミーズイタリアン前(5F)
			17:15	★★★コースディナー(ファーストシーティング)	指定レストラン場所(3.4F)
			19:30	★メインショー(Effectors)1回目 時間は船内で再確認	ロイヤルシアター(4F前方)
			20:15	★サブメインショー(シルクロード)	TWO70(5F後方)
			ナイトタイム	(ジム、プール(ソラリウムは20:00まで、インドアは23:00まで))	ジム(13F前方) プール(14F)
			21:45	メインショー(Effectors)2回目 時間は船内で再確認	ロイヤルシアター(4F前方)
			22:15	★ヤングパーティー	TWO70(5F後方)
23:15	★VIRTUAL FIREWORKS PARTY	TWO70(5F後方)			
23:30	★参加推奨 おしゃべりの会	ソレントス(ピザ)(14F中央)			
4	3月7日 (木)	シンガポール	6:30	シンガポール港入港	デッキ
			7:00	朝食(各自)	ウインジャマカフェ(14F後方)
			8:00	★★★集まって下船	SCHOONER BAR(5F)
			9:00	★★★シンガポール港湾視察ツアー	ONEツアーバス
			14:00		
			14:00	マリーナベイ自由散策(荷物は、OFFICEで保管)	マリーナベイ
			18:00		
			18:00	光と水のスペクタクルショー『SPECTRA』 ガーデンズバイザベイ散策(希望者のみ)	マリーナベイ ガーデンズバイザベイ
				解散 宿泊OR帰国の途	夕食OR空港へ

集合場所(乗船場所)

乗船場所 / Embarkation

下記はシンガポールの港の案内です。その他の港についてはゲストチケットブックレット(お客様への最終書類)内“Port Directions”をご参照ください。

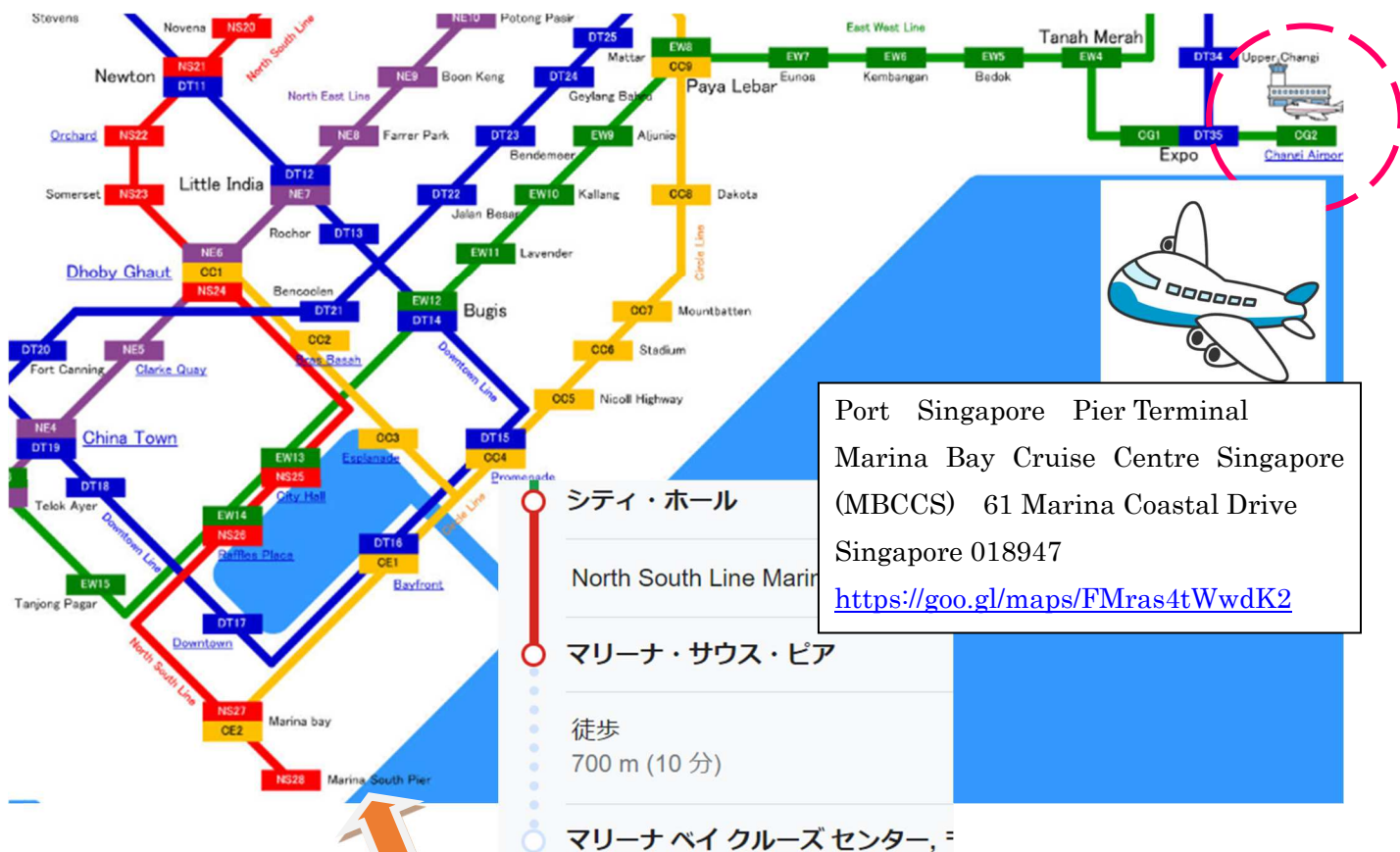
大きな港では複数の大型客船が停泊しますので、タクシーのドライバーには船名もお伝えください。

【シンガポール】

港：マリーナ・ベイ・クルーズ・センター・シンガポール(MBCCS)

(61 Marina Coastal Drive, Singapore)

マリーナベイ・サンズがオープンし開発の進むマリーナ・ベイの一角に 2012 年に建設されたシンガポール国際クルーズターミナル(International Cruise Terminal)でご乗船手続きとなります。チャンギ国際空港より車で約 30 分、主な観光地からも車で 10 分以内です。



マリーナ・サウス・ピアシンガポール

注意事項およびその他連絡



10 分 (750.0 m) 「Marina Coastal Dr」 経由



スマート・クルーズ・アカデミー番外編参加者名簿

	大学名	学年	氏名	ふりがな	性別
1	大阪大学	2年	前田裕輝	まえだゆうき	M
2	大阪大学	2年	今道尊人	いまみちたけと	M
3	大阪大学	2年	西田実富結	にじだみふゆ	F
4	大阪大学	2年	林美佳	はやしみか	F
5	大阪大学	3年	大橋花音	おおはしかのん	F
6	大阪大学	3年	福田虎太郎	ふくだこたろう	M
7	大阪大学	3年	藤原賢亮	ふじわらけんすけ	M
8	大阪大学	4年	竹田朝香	たけだあさか	F
9	大阪大学	4年	宮里麻央	みやざとまお	F
10	大阪大学	4年	海東明倫	かいとうあきら	M
11	大阪大学	4年	笠場愛尋	かさばまひろ	M
12	大阪大学	4年	孝岡光	たかおかひかる	M
13	大阪大学	4年	平野翔	ひらのしょう	M
14	大阪大学	4年	藤井翔太	ふじいしょうた	M
15	大阪大学	4年	森田一至	もりたかずし	M
16	大阪大学	4年	山内大輝	やまうちだいき	M
17	関西学院大学	3年	赤井勇斗	あかいゆうと	M
18	京都産業大学	4年	久泉亜緯	ひさいずみあい	F
19	京都産業大学	4年	山中未愛	やまなかみあ	F
20	京都産業大学	4年	中野百萌	なかのもも	F
21	京都産業大学	4年	西川樹	にしかわいつき	F
22	京都産業大学	4年	千葉絵子	ちばえこ	F
23	京都産業大学	2年	射場彩菜	いばあやな	F
24	京都産業大学	2年	水木凜	みずきりん	F
25	札幌大学	4年	廣島 優奈	ひろしま ゆな	F
26	札幌大学	3年	廣島 理奈	ひろしま りな	F
27	大阪大学	引率教員	赤井 伸郎	あかい のぶお	M
28	京都産業大学	引率教員	倉本宜史	くらもとたかし	M

学生アンケート

目次

特に満足したポイント	6
概要を知る前のクルーズへのイメージ	7
クルーズの概要を知ったときの感想(クルーズへのイメージの変化と期待の変化)	10
申し込み後、乗船日前夜に何を考えたか(期待や不安)	12
乗船前にクルーズ客船が目の前に見えたとき、岸壁で眺めたときの率直な感想(規模・スケールなど)	15
乗船直後の感想(自分のイメージしていた内容と比較した「船内の様子(パブリックスペース、船員さんの態度など)」	17
船内でのコロナ対策への感想.....	21
クルーズ船としての船内施設(ハード面)全体の感想(船内施設・施設のレイアウトなど)	24
船内サービス(ソフト)の感想:①「レストラン・カフェ・バーでのメニューについて」、②「レストラン・カフェ・バーでのサービスについて」、③「キャビン清掃、レセプションについて」、④「カジノについて」、.....	26
船内のSHOWやエンターテイメントの感想.....	32
船内の施設でのアクティビティーに関する感想(ジム・ロッククライミング・バンパーカー・フローライダーなど)や体験型イベント(ダンスPARTY・ビンゴなど)の感想.....	35
"クルーとのディスカッション(①ホテルマネージャー、②レストランマネージャー、③アクティビティマネージャー)の感想.....	39
乗船港(シンガポール)での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想、観光地としての魅力など)"	43
寄港地(ペナン島)での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想、観光地としての魅力など) ..	46
スマートクルーズアカデミー全般について【クルーズを通じた学生間交流、会食、寄港地観光、フェアウェルパーティー(勝手にフォーマルナイト)など】についての感想と今後の要望.....	49
地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割についての感想(日本・東南アジアの場合)	53
クルーズを通じた国際交流・異文化理解についての感想.....	56
クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしにむけての若い世代からの視点)を書いてください。	60
クルーズ全般への感想(失敗談なども)、将来に向けての感想、上記の項目に該当しなかった部分への感想 ..	63

特に満足したポイント

1. 美味しいディナー、爽快なフローライダー、楽しませてくれた先輩・同期
2. レストランの給仕、窓付きの部屋、ルームサービス
3. 職員の方の貴重なお話を聞くことができたため。また、船上でさまざまなアクティビティを楽しむことができ、食事もいわゆる洋食だけではなく、乗船する客層に合わせたものになっていた点である。
4. フローライダーやバンパーカーなどのアクティビティ、食事（レストラン）、ルームサービス
5. ショーやパーティーなどの非日常のイベント、食事の美しさ・美味しさ、快適な客室
6. 美味しい料理をホスピタリティにあふれるウェイターさんたちが提供してくれて、とても気持ちよくご飯を味わうことができた。アクティビティに関しても同様で、トラブルに対しても柔軟に対応してくれつつ、乗客の気分を盛り上げるようなナレーションをとっさに行っていたことから、普段からよいサービスを追求していらっしゃるのだと強く感じた。
7. 人生で初めての豪華客船・美味しい世界中のお料理・全身で楽しめるアクティビティ
8. アクティビティの豊富さ、・テクノロジーを用いたショー、・深夜 3 時までのピザ
9. 追加料金なしでも十分に食事を楽しめること、・普段出会わないような講座に出会えること(Bollywood dance class に参加できなかったのが本当に悔しいです)、・緊張感なく過ごせること
10. ご飯がいつでもたくさん食べられて、どれも美味しい。ショーが船にいるとは思えないほど舞台装置など充実しており素晴らしい。アクティビティが充実しており、サーフィンやロッククライミングなどとても楽しい。
11. 一般的な大学生では絶対に体験できないような非日常的な船の体験を楽しむことができたこと、3 年間苦楽を共にしてきた同期や後輩たちと密に交流することができたこと、海外で活躍している日本の方を目の当たりにしその姿に感化され、4 月からの社会人生活を頑張ろうと思えたこと
12. 種類が豊富で美味しい料理が食べ放題だった点。食べたいものを好きな時間に食べられるのは、特別感があつた。部屋がホテルのように快適だった点。内装も綺麗で、船の揺れも全く感じずリラックスすることができた。ココナッツのシャンプーがいい匂いだった。船内イベントが豊富だった点。スマホなどが使えない分、イベントで普段とは違う時間の過ごし方をすることができ、大変充実した。
13. 自分から足を運ぶことがあまりないアクティビティを楽しめた、・船の上でゆったりと時間を過ごすことが出来た、・クルーが気さくにコミュニケーションを取ってくれ、非常に良い勉強になった

14. 国内のフェリーとは比べ物にならないくらいの規模感とアクティビティの充実度さを感じられたことである。また、ゼミ生とゆったりした自由な時間がたくさんあるクルーズ船で共に語り明かしたことも非常に良かったと感じる。そして、赤井先生とも話すことができて、ゼミ全体の親睦が深まったと感じる。
15. 数々のアクティビティ、・ペナン島寄港、・ゼミ生との交流
16. コース料理、ドローンを使ったショー、ダンスパーティー
17. アクティビティ レストラン 部屋
18. イベントの豊富さ、ビュッフェやコースディナー、客室
19. シンガポールでクルーズ船に乗り、素晴らしいサービスを受けるというなかなかない機会をいただくことができた点。時間を有限に使い、クルーズ船のイベントらアクティビティをすべて楽しむことが出来た点。社会人になる前に最高のサービスの提供を間近で見ることができた点。
20. 毎食の料理が豪華であったこと、アクティビティが充実しており刺激ある時間を過ごせたこと、部屋が快適であったこと
21. クルーの人が親切で困っているときに助けてくれた。アクティビティやショーなどたくさん経験できて新鮮で楽しかった。部屋も広く、料理もどれもおいしくて不自由することがなく、快適に過ごすことができた。
22. アクティビティ、サービス、食事
23. イベントがとても豊富でどの時間も楽しめる。部屋が船の 1 番前で、とても景色が良かった。スタッフの丁寧で親切なサービスが良かった。
24. クルーズに初めて乗ったが豪華で驚いたところ・食事を取りたいときに気軽にバイキングを利用出来たこと・アクティビティが充実していたこと
25. ウォータースライダー、バー、ショー
26. イベントの多さ、清潔、料理

概要を知る前のクルーズへのイメージ

1. 乗船経験あり
2. 乗船経験あり
3. 豪華な食事や設備があるイメージ。。ただ、船は移動手段というイメージがあるので、そこにたくさんのお金を使う意味があまりわからず、お金持ちの人が楽しむものだというイメージを持っている。
4. 乗船経験あり
5. 以前に乗船したことのある先輩方から様々なお話を伺っていたため、とても煌びやかな

世界なのだろうというイメージを持っていた。特に、ダンスパーティーやフォーマルナイトに関するお話をたくさん聞いていたため、日常を忘れて特別な体験ができるのではないかと期待していた。

6. 中で体験できるアクティビティや食べることができる料理のクオリティは分からないが、とにかく大きい船に揺られて旅ができるというワクワク感があった。就職活動の時期と被ってしまうので、どのように折り合いをつければ行けるのかというところは非常に考えた。内容はどうであれ、一度体験してみたいと感じていた。
7. 国内の、いわゆるフェリーには乗船経験があり、船に乗ることの少ない日常生活の中でとても新鮮で楽しかった印象があったうえ、海外の本格的なクルーズという噂を耳にしていたのでぜひ参加したいと考えていた。同期のメンバーがあまり参加しないような雰囲気があったが、先輩方や後輩も参加するとのことで自分も参加する心持でいた。
8. 乗船経験あり
9. クルーズと言えば豪華客船!お金持ち!のイメージで少し気が引ける。船内の豪華な雰囲気に慣れないのではないかと不安。紹介動画を見ても、具体的に何をして 1 日を過ごすのかあまりイメージできない。
10. 以前クルーズに乗った人がとても楽しいと言っていたので機会があれば乗りたいと考えていた。乗船下船がシンガポールであることが少し厄介かと思っただが、一生に経験できるかどうかといったところなので申し込むことにした。大学の卒業旅行にぴったりだと考えた。
11. これまでの人生で、約 1 週間家を離れ旅行をするということを一度もしたことがなく、果たして精神的にも肉体的にも健康な状態でクルーズ旅行を終えることができるか不安だ。とはいえ、社会人になるとこのようなまとまった時間を確保することはできず、まして船の上で同期と密に関わる機会など作ることは相当難しいに違いないので、是非参加して楽しみたいと思う。
12. 絶対楽しいと思うが、船という環境の中で生活することに疲れてしまうのではないかとこの点は懸念点である。船は揺れるし、ホテルのように落ち着いて休むことができないのではないだろうか。また、スマホなどが使えなくなり、時間を持て余してしまうのではないだろうか。どちらかというインドアであるため、アウトドア系のアトラクションが多いとやるのが少ないのではないか。
13. 乗船経験あり
14. クルーズ船の動画を見せていただいた時から、ぜひこれに乗ってみたいと思っていた。コロナ禍でなかなか国外のクルーズに行けてなかったのが、非常に楽しみにしていた。また、クルーズの自由な時間は何をしようという疑問も少し持っていた。
15. 乗船経験あり

16. 乗船経験

17. 乗船経験あり

18. 申し込む前は、クルーズのイメージが全くなく、タイタニック号みたいに、豪華な船なのか、普通のホテルみたいな船なのか、抽象的なイメージを持ちながら申し込んだ。先生からも少し話を聞いていたので、興味本位で申し込んだ。

19. 海外に友人達と一緒にいけるこんな機会はもうこの先無いかもしれないと考えていました。社会人になると、シンガポールに行く機会もクルーズ船に乗る機会も、仲のいい友人と旅行すると機会もあるかどうか分からない、2 回生、3 回生では逃してしまったことも考えるとどうしても行きたいというふうに思いました。

20. 概要を知る前、クルーズとは海の上でゆったりとした時間や非日常感を楽しむものであるというイメージを持っていた。また、ゆったりとした時間を楽しめるという点から、乗船客にはご年配の方が多くのではないかと想像していた。クルーズはテレビや映画の中のものであると感じていたため、自分には手が届かない贅沢なものであると考えていた。

21. 大雑把にとにかく中でいろいろなことがあるのだろうと思う。想像できない部分の方が多く、具体的にどんなことができるのかは分からない。クルーズなので寝泊まりできるくらい大きな船、豪華な船というイメージがあり、船なので揺れて船酔いもあるのではないかと不安になる。

22. 正直シンガポールまで行って船に乗るのは少しもったいない気がした。また、説明を聞いて 3 食付きでビュッフェまでついていることから、服が入らないほど太らないか心配になった。また、シンガポール発着の外国船だったので、飛行機でシンガポールまでちゃんと行けるか、トランジットが上手くできるか心配だった。

23. 海外旅行が好きで色んなところに行って経験したいという気持ちがあり、クルーズ船の話聞いた時は楽しそう、クルーズ船は今後なかなか経験出来なさそうなので行ってみたい、船の中でも楽しめて、現地到着しても観光して楽しめて行く価値がありそうだなといった印象だった。行ってみたいという思いが強かった。

24. 最初は倉本教授に誘っていただき興味を持ちました。船に乗って旅をするということが私の中で新鮮に思えました。そしてクルーズは 1 度も乗った事が無かったのでどういう感じなのかが全く想像出来ませんでした。経験してみたいと思い申し込みに至りました。

25. 乗船経験あり

26. 就職活動が始まった時期だったため、参加を考えた。クルーズ後は就職活動のイベントが多く、クルーズに行っていた分少し大変だった。

クルーズの概要を知ったときの感想(クルーズへのイメージの変化と期待の変化)

1. 乗船経験あり
2. 乗船経験あり
3. クルーズ船の中にサーフィンなどのアクティビティを楽しめる施設や食事をする場所も複数あり、クルーズ船に対して動くアミューズメントパークのようであるというようなイメージがついた。また、パンフレットを見たことによって、施設についての具体的なイメージが湧き、期待も高まった。
4. 乗船経験あり
5. 大きなイメージの変化はなく、非日常の世界を体験できるのだろうと感じてワクワクした。また、サーフィンやスカイダイビングなどのアクティビティは、これまで陸でも体験したことがなかったため、それを船上で体験することができるということに驚いた。
6. 船内の様子を写したPVを見て、1つの船の上でここまで充実した設備を仕込めるのかと非常にびっくりした。陸にあるホテルでもここまでのクオリティのホテルは中々ないので、クルーズならではの何か、海外文化ならではの何か、とすごく楽しみになった。行きたいという気持ちが非常に強まり、何とかして行こうという気持ちになった。
7. 船内の案内映像を見せていただいた時には予想をはるかに超える広さと、船体の大きさと、何よりも船内の設備の豪華さに驚かされた。高級ホテルのような内装に、プールや劇場、カジノまであるということを知り、映画の舞台になるような巨大なクルーズ船だということに興奮していた。
8. 乗船経験あり
9. ぼんやりと抱いていたイメージ以上に規模が大きく、驚いた。1つの町と言ってもいいような人の数で、どのように維持しているのか、自分が乗船して経験することよりもマネジメントなど裏の仕事に興味があった。
10. 船上でロッククライミングやサーフィン、スカイダイビングができると聞き大変驚いた。ぜひすべて体験したい。大きいだろうと思っていたよりもさらに大きく、収容人数や船の大きさなど想像がつかない。食事がいつでも食べられるということで、お腹の空きがある限り食べ続けたい。
11. 船の上でプールを楽しんだり、バスケットを楽しむことができるなど、自分が想像もしたことがないことで純粋にとっても楽しめそうだと思った。日本のフェリーに何度かのった経験から、船の上での揺れはどのくらいなのだろうかという興味も湧いた。
12. 船の部屋は、ホテルのように綺麗で揺れもないと聞いて安心した。また、船内では、プールやロッククライミングなど常設のものだけでなく、時間ごとにイベントが設定されているということを知り、朝から晩まで楽しめると感じた。ジムやサウナ、ショーなど外に出

なくても楽しめるイベントもたくさんあり、インドアの人でもかなり楽しめるとわかり、ワクワクした。

13. 乗船経験あり

14. 実際に概要を知らされた時に、自分が想定していた時よりもアクティビティやショーがたくさん存在していて、より期待値が上がった。クルーズ船の上で、こんなにも充実した時間を過ごせるのかと驚いた。

15. 乗船経験あり

16. 乗船経験

17. 乗船経験あり

18. 思っていたより、凄く大きな船、たくさんの人、様々なイベントなどに驚いたのである。3泊4日では回りきれないほどのアクティビティやショーに申し込む前より期待値が上がり楽しみになった。そして、普段では味わえないような体験ができることに貴重な機会だと感じた。

19. クルーズ期待以上に素晴らしいものでした。私が期待しているクルーズ船よりも遥かに大きく、老若男女誰しもうれしく楽しめるように考慮されて作られていました。実際に泊まると3日目には体力を使い果たして居そうだと考えていましたが、概要をみていると最後の最後まで楽しみたいという気持ちが強まりました。

20. これまでフェリーへの乗船経験しかなかったため、船の中にアクティビティ設備があることに驚いた。特に船の上でプールを楽しめることを知り、どのように運営されているか疑問に思った。また、クルーズの間に一度下船しペナン島の観光ができると知り、クルーズと旅行が同時にできることがお得に感じた。

21. 私が想像していた以上にきれいな船で、いろいろな経験ができそうで楽しみになった。しかし、まだクルーズに乗るという実感は湧かず、乗っているところを想像できない部分がある。二泊三日もずっと乗ってられるのか、純粋に楽しめるかどうか不安な部分もある。

22. パンフレットをみて、この船に乗るなんて考えられないと思った。とても豪華な船だったので、乗ったらきっと富豪になった気分になると思った。また、アクティビティが充実しておりとても楽しそうだった。アクティビティが充実していることから、家族連れの客層が多いのかなと推測した。

23. クルーズ船の中で、様々なアクティビティやショーなどのエンターテインメント、プールなどのリラックスできる場所、それに加えてコース料理やbuffetがいつでも利用できると聞き、できることが多いことに驚いた。とても楽しみになった。行くからには、めいいっぱい楽しんで満喫しようと思った。

24. クルーズがどういう感じなのか全く想像出来てなかったのですが、概要を伝えられる

うちにこんなにすごいクルーズに乗らせていただけることが出来るんだとわくわくした気持ちになりました。スケジュールも見ていくうちにたくさんの活動が含まれていてすごいなと思いました。

25. 乗船経験あり

26. ペナンに下船し観光ができる点が魅力を感じたが、ペナンの観光はあまり楽しめなかった

申し込み後、乗船日前夜に何を考えたか(期待や不安)

1. 楽しみという感情しかない。旅行は時間が経つにつれて美化されていくと個人的には思うが、前回 2023 年 6 月に乗ったときの思い出が楽しすぎて今回もとても楽しみである。さまざまなアクティビティがあると聞いているが、全て制覇できるように短い期間ではあるが、チャレンジしていきたい。良い思い出を作って帰れるようにしたい。
2. 海外発着のクルーズへの参加は初めてだ。船内も完全に海外仕様なのだろう。心配ではあるが、同時に楽しみだ。どのような雰囲気なのだろうかとワクワクする。3 泊 4 日の旅程で、寄港は一回だけである。正直クルーズとしては物足りないのではないか。クルーズを楽しみ切れるのだろうかと不安だ。
3. 初めてシンガポールに行くということと、友人とクルーズという初めての経験をすることに非常に期待が高まっている。しかし、自分と友人のみ 20 歳以下で別途で手続きをしなければならないと聞いているため、うまく手続きが進むかということに対して不安がある。
4. 今回はクルーズ乗船 2 回目、前回時の非日常感を再度味わえると思うと非常に胸が高鳴っている。長距離・長時間フライトを経てシンガポール観光もこなして体力的には万全ではないが、それを上回るほどの高揚感がある。初東南アジアということもあり、クルーズだけでなく寄港地のペナン旅行も非常に魅力的な内容。
5. 乗船に係る手続きは、飛行機と比べてどのように異なるのか、また、今回のクルーズにはどのような国籍の方たちが乗船するのかということが気になっていた。また、豪華な客船で旅をするという経験が初めてだったため、船内のレイアウトや客室の様子などにも期待していた。
6. シンガポール前日入りで泊まっていたホテルの質が、シンガポールの清潔さの印象のかけらもないホテルだったので、早く乗船したくてたまらなかった。船に対する不安はなく、とにかくクルーズのアプリを見て予定表を確認しながら、楽しみにして待っていた。同室に泊まっていた友達とも、ずっと船が楽しみだと話していた。
7. 私は友人とともに二日ほど前からシンガポールに前乗りしていたので、久しぶりの海外

の空気と食べ物を満喫しつつ、海上の旅を待ちわびている状態だった。また、現地の宿がお世辞にも充実しているとは言えない環境だったので、早くクルーズ船に乗りたいという気持ちもあった。

8. 今回はサーフィンやロッククライミングなど、アクティビティを特に楽しみにしていた。また、非常にサイズの大きい船だと聞いていたので、その規模感も楽しみにしていた。3泊4日と前回より短い行程だったので、参加できるイベントはできるだけ参加し、できるだけ沢山遊ぼうと思っていた。
9. 普段から活動的な方ではないので、クルーズの様々なアクティビティをみんなと同じように楽しめるか、やりたいことがなくて部屋でぼーっとするのはめにならないか不安だった。さんふらわあ等の大きなフェリーに乗ったこともないため、大きな船に乗ることが楽しみだった。
10. 拙い英語が通じるか心配だ。食事はどんなものが食べられるのだろうか。アジアっぽいものは前日食べたので欧米のごはんが食べたい。アクティビティもいろいろ体験したい。スカイダイビングは船の上でなくてもめったに体験できないので経験してみたい。寄港地であるペナン島も楽しみである。
11. 初めてのクルーズ体験ということでどんなアクティビティや出会いが待っているか本当に楽しみだった。一度乗船するとしばらく陸に足をつけることはないだろうから、なにか船の上で緊急事態が起きないかという不安もほんの少しだけあった。
12. 明日から、この船で全ての生活ができる。食事も寝床も娯楽もついていて、貴族になったかのような気分だ。日常生活でやらなければいけないことなども全て忘れて、休むことができるのが最高だ。インターネットに無料ではつなげることができないが、つなげない方が逆に船の楽しいことをたくさん経験できるはずだ。自分のやりたいように、好き放題に生活をしよう。
13. 再びあの船の上の優雅な生活が始まると考えて、非常に楽しみであった。また、今回特有の気持ちではあるが、自分が泊まる部屋がどのような雰囲気なのか分からなかったため、その点でも大きな期待感を持っていた。2回目ということもあり、不安を感じるようなことはほとんどなかった。
14. 国外のクルーズ船に乗るのは初めてだったのでどのように手続きをして、乗って寄港地で降りるのかなどを少し不安に思っていた。それ以外においては事前に渡されていたスケジュールを見てただただ心が躍るばかりだった。また料理はどのようなモノが出てくるのかも少し気になっていた。
15. 今回のクルーズが前回と比べてどのように異なるかという期待に胸を膨らませていた。ゼミ生の人数(特に4回生が全員参加出来る点)、中京大学のメンバーが不在な点、船会社が異なる点、シンガポール発着で日本を全く通らない点など前回と比べて異なる

要素がたくさんあったため、それがクルーズにどのように影響するか、どういった違いをもたらすかを考えていた。

16. クルーズのプロモーション映像を見て、船の規模とフローライダーへの期待を持っていた。前者については、MSC に比べて、高さの使い方が上手な映像と感じていて、その点に関して過度に評価してしまっていた。(今回のものが最大のものではないと思いつつ大きく期待していた。) 後者に関しては、サーフィンへの興味からとても楽しみにしていた。
17. 乗船日前日は以前にクルーズ船に乗ったこともあり、わくわくが止まりませんでした。シンガポールで宿泊したホテルが最悪であったことも相まってよりクルーズに対してより期待が満ち溢れていました。
18. 回答なし
19. これからはじまる最高のクルーズ旅にとっても心躍らせる反面、自分自身のリスク管理に不安はありました。飛行機の時間や忘れ物、また、自身だけでなく他の人を巻き込んでしまうような事があればどうしようと言う不安がとても強かったです。期待と同じくらい不安もありました。
20. 乗船日前夜に最も楽しみであったことは、料理である。様々な国の方が乗船する船であるため、どのような食事が提供されるか期待をもっていた。また同様に、様々な国の方が乗船する船であることから、他の乗船客の方やクルーの方と上手くコミュニケーションをとることができるか不安であった。
21. ショーやアクティビティ、料理が楽しみという期待と初めて経験することに対する不安の両方がある。船に乗ったら何をしようかとトラブルが起こらないか、分からないこと、困ったことがあったらどうしようなど思うことがあったが、前日はわくわくする方が大きい。
22. 海外発着の船なので、どのくらい自分の英語が伝わり理解してもらえるか、もしくは中国語しか通じないのか、言語的な壁がどのくらいあるのかが心配だ。また、海外の船の食事は日本発着の船と異なり食事が日本向けでないため口に合うのか、パクチーが苦手なので食事がパクチーだらけではないのかがとても心配だった。
23. まず、目的地に自分たちだけで無事に辿りつけるのかという不安が 1 番大きかった。また、英語が苦手である程度しか聞き取れないので現地で困った時にコミュニケーションがしっかりとれるのかが不安だった。また、クルーズ船の旅を明日に迎えたことにまだ現実感がなく、楽しみや期待よりも不安の方が大きかった。
24. まずは明日無事にシンガポールまで到着できるのかを考えていました。空港から船のとまっているところまで行かないとだったのでタクシーも使わないといけないし大丈夫なのかなど不安でした。まだ自分の目でクルーズをみてなかったのどのくらいの大ききの船に乗るんだろうと期待してました。

25. 今回の食事はどのようなものが食べられるだろうか、前回のクルーズのショーもとても良かったが今回のクルーズはどのようなショーが待っているのだろうか、またクルーズによってショーの内容が異なったりしているのだろうか等
26. 海外へ行く飛行機の不安。雪の影響で遅延しないかどうか。

乗船前にクルーズ客船が目の前に見えたとき、岸壁で眺めたときの率直な感想(規模・スケールなど)

1. 前回同様大きな船である。目に入ったときはもうすでに全体像は見えない。いつも思うがなぜ浮かんでいるのか不思議になるくらい大きい。船の横についたときは船だとは思えない断崖絶壁のように感じる。あの大きさのものを管理するのはどれくらい大変なことなのだろうかといつも考えてしまう。
2. やはり、クルーズ船は大きい。一つの建築物のようで、遠めに見ても存在感がある。他船のクルーズに参加したことはあるが、巨大なクルーズ船を目にした時の高揚感は変わらない。前回とのサイズの比較を試みるも、スケールが大きすぎて、わからない。
3. 自分の想像していた大きさの船よりもずっと大きく、非常に驚いた。また、船酔いに関して少し心配していたが、その不安も解消された。マレーシアのペナン島から再び乗船する際にクルーズ船を外側から見たが、視界に収まらないくらい大きく、圧倒された。
4. 前回同様ではあるが、率直にやはり大きい。巨大マンションが洋上に浮いているようで壮大な景色。船の側面に書かれていた"Spectrum of the seas"がさらにその壮大さを演出している。地下鉄の駅から歩いて近づくにつれくっきりと見えるその全貌に感動。
5. 想像以上に大きな船に驚きを隠せなかった。それでも、プールやシアター、レストランやバーなど、すべての施設がひとつの船に収容されているというイメージを持つことができず、早く中を見てみたいという衝動に駆られた。
6. 想像以上の大きさ、乗客の数で、これほど多くの人と1隻の船で旅をするのかと、非日常的な経験にとってもわくわくした。PVでみた景色がほんとうに広がっているのか、どんな設備が待ち受けているのか、とても楽しみだった。アニメでみる豪華客船のイメージもあいまって、早く乗りたくてたまらなかった。
7. マリーナサウスピア駅から少し徒歩で歩いて港に向かったのだが、向かう途中ですでに接岸しているクルーズ船が見え、想像していたよりも大きく、そして華やかな印象を受けた。港に向かうにつれ大きくなる船体と、いざ登場する際に目の前に広がるその姿に興奮が収まらなかった。
8. 高さも長さも本当に規模感がすごいと感じた。乗船のためにクルーズターミナルへ向かう際、屋上のデッキにアクティビティらしきものが見え、実際のアクティビティはどのよう

なものだろうか」と期待が膨らんだ。前回同様、今からこのスケールのクルーズで過ごすことができるのかというワクワク感があった。

9. あまりの大きさに驚いた。さんふらわあを初めて見たときも大きくて驚いたが、その比ではなかった。また、救命ボートもそれだけで 1 つの船と言えるほど大きく、改めてクルーズの規模の大きさを感じた。
10. 思っている数倍のサイズに驚いた。山のような。見えるだけでもものすごい数の客室で、マンションよりよっぽど人が住めるように感じた。外から見えるものはすべてテラス付きで、ただ宿泊するにしても高級ホテルのような部屋なのだろうかと思った。そしてこの数の部屋を清掃・管理するのにどれだけの人数が必要なのだろうかと思った。
11. 出身が港の近くであったことから、何度かクルーズ船は見たことがあったが、想像を超える大きさの船でワクワクが止まらなかった。船の上に、鮮やかな色のプールのスライダーがチラホラ見え、早く船の上からの景色を見たい、プールを体験してみたいと思った。
12. 巨大な船だと分かっていたが、実際に見ると想像以上に大きい。マンションみたいな船だ。この中に、たくさんの客室やプール、ショーの会場など、いろいろな施設が入っているとすると、とてもワクワクする。船内を隅から隅まで冒険して、全ての施設をみてみたい。乗船したらまず、1階から最上階まで回って、この船の全体像を把握しよう。
13. 率直な感想としては、前回と同様に「街が海の上に浮いている」ような感覚であった。地上にあってもおかしくない程の数の客室や、レストラン等が外からでも確認できたため、そのスケールが非常に大きいということを感じる事が出来た。
14. そこにマンションが存在しているのかと思うほど大きかった。国内のフェリーと比較にならないほど大きかった。またこれから異世界の旅が始まるのだとワクワクした。また、たくさんの窓が見えたため、自分たちが宿泊する部屋はどのような部屋なのだろうとも気になった。
15. 大きいことは前回で重々承知していたが、やはり実際に見るとその大きさに圧倒された。岸壁にもう一隻の船が停泊していたが、それとは比べものにならないほどのサイズ感に圧倒され、クルーズ船の大きさや経済効果について改めて考えさせられた。
16. 駅からどの方向に行くかは少し迷ったものの、以前よりもスムーズに入れたように感じる。ただし慣れがあったかどうかの問題かもしれないものの、列の誘導が機能的で乗船までの導線がしっかり作られていた。スーツケースを預けずとも楽に乗船できたため、以前ケースが壊れたのを目にしたものとしては一緒に持っていける方が安心である。
17. 今回のクルーズ船はアクティビティにバンパーカーが存在する特殊な船だったので船の中で新鮮な気持ちを味わうことができてよかった。またシルクロードといった独特な布を使った幻想的なショーはとても魅力的だった。

18. 規模が大きく、客室も沢山あって、驚いた。映画でみたタイタニック号がそのまま現れたようで、気持ちが高ぶった。どの部屋に泊まるか、どんな人がいるのか、どんな楽しいイベントがあるのかと想像しながら、3泊 4 日間、この船で過ごせることがすごく楽しみになった。
19. 本当に、動画やInstagramで見るよりも圧倒的でした。不安があるというふうに書いていましたが、船を見た瞬間はその不安は消え去っていて、この船に私は今から乗って 3 泊 4 日間楽しい時間を過ごすんだと言う気持ちがものすごく大きかったです。こんなにも規模の大きい船を見るのは人生で初めてで感動しました。
20. 遠目で見た時に、クルーズ客船の大きさと数えきれないほどの窓に驚いた。また、船の長さだけでなく、見上げ切れないほどの高さに気持ちが躍った。近くでみると、船の側面に窓とベランダが見え、まるでホテルではないかと勘違いしてしまうほどの綺麗さであった。
21. 私の想像以上に大きく、こんな大きな船があるのかと驚いた。ほんとに海の上にこんな大きな船が浮かんでいるのが不思議であり、地面にホテルが建っているのかと思った。プールのアスレチックといったアクティビティの遊具が見えたので、期待がさらに膨らんで、早く乗りたいと思う。
22. とても大きくて、船と言うより動く高級マンションのようだと思った。また、船の上にあるいろいろなアクティビティの設備が見えたので、乗る前からとてもワクワクした。この大きな船が動くと思うと、とても壮大だと感じたのでより一層期待感が高まり、乗船が楽しみになった。
23. タクシーで港に向かい、船が見えた時、想像していた大きさの 3 倍ほどのスケールにとっても驚いた。外装も綺麗で感動した。今から、あの船に乗るのかという表せられないほどのワクワクした気持ちでものすごく胸が高まった。しかし、まだ今からこの船にのりという現実感がなく、楽しみと不安の両方があった。
24. クルーズが見えたときは大きさに驚きました。今まで私が人生で見た船の中で 1 番大きいと思いました。窓もたくさんあって部屋数もすごく多そうだし船内はどうなってるのかすごく興味がわきましたし、キラキラ輝いて見えました。友達と私たちが乗る船を見つけたときワクワクしたのをすごく覚えてます。
25. MSC ベリッシマと内装が全然違ってイメージと異なった為、新しい感覚でクルーズ旅行が楽しみになった。近くで見て改めて規模の大きさを感じた。
26. 思い描いていたクルーズ船より実際は大きく、楽しみが倍増した。

乗船直後の感想(自分のイメージしていた内容と比較した「船内の様子(パブリックスペース、船員

さんの態度など)」

1. 乗船した直後はプロムナードのところだったので、それはベリッシマの方が煌びやかではある。その他は前回乗ったときとそこまで大きな変化はない。クルーの方はとても優しく対応してくれる。言語がいまいち通じなくても理解してくれようとする気持ちがすごい。こうじゃないとクルーズの船員は務まらないのかもしれない。
2. 船内の雰囲気は、案外高級感がない。メインストリートも、華々しいというわけではなく、百貨店のような雰囲気だ。各所にある中国語表記には、親密さと同時に、ややカジュアルさを感じる。とはいえ、やはり非日常感は感じられ、わくわくする。
3. クルーズ船に乗船した瞬間から、内装が非常に豪華で船の中とは思えないほどである。また乗組員の方々にに関して、少し早めに自分たちの部屋に行った際に部屋を整備されていた乗組員の方が笑いながら楽しそうに作業されていて雰囲気が良く、これからの旅に期待が高まる。
4. 事前にパンフレットや動画を少し確認していたのである程度は想像できていたがやはり豪華で圧倒された。宿泊部屋に関して詳しい情報は確認しておらず、しかも今回窓付きの部屋ということもあり、絵などが飾られソファまで配置されている大学生には贅沢すぎる部屋に感動した。
5. アメリカ国籍の船だと聞いていたため、アメリカ人のクルーが多いのかと思っていたが、クルーの国籍は多種多様で驚いた。ひとたび船に入れば、そこは陸のショッピングモールやシアターと変わらず、海の上にいるということを全く感じさせない環境だった。
6. 高級ブランド店や綺麗なレストラン、カジノなど、百貨店のような景色が乗船直後飛び込んできて、現地の気候に合わせて半袖短パンでいるのが少し恥ずかしかった。船員さんは拙い英語で質問しても丁寧に答えてくれて、ウェイターさんやアクティビティのコーチだけでなく、皆素晴らしい方々だった。
7. 豪華なシャンデリアや透明なガラス張りのエレベーター、高級時計や服飾のブランド店が並んでおり、高級ホテルと見まがうほどの華やかさだった。また、吹き抜けといった船内のデザインにも意匠が凝らされており、船内全体を見渡せるようなスポットもあり、「魅せる」工夫がなされていると感じた。
8. 乗船直後に行ったのが、船の真ん中あたりにあったロボットがサーブをしているバーだったので、ロボットがサーブをするなんて、と驚いた。シンガポール発着なので、船員さんも乗客も東南アジアの方が多い印象を受けた。また、ほぼすべての場所に中国語の看板があったので、その点でも東南アジアらしさを感じた。中国の客が多いのか？とも思った。
9. 動画やMSCの写真を見て豪華絢爛な空間をイメージしていたが、豪華ではあるものの

派手ではなく、比較的落ち着いて雰囲気よかった。特に客室周辺は普通のホテルのようでも過ごしやすい。船員さんはいい意味でくだけていて話しやすかった。

10. かなり広くて思っていたより煌びやかだった。ブランドのお店などがたくさんあり、ショッピングモールに来たみたいだと感じた。カクテルを作るロボットが音楽に合わせて動いており、近未来を感じた。広い船内で端から端までの移動は大変であるように思われる。迷子になりそうだ。船員さんはどなたも気さくそうで安心だ。
11. 様々な色の光で船内が照らされていたり、船の中とは思えないほど天井が高かったりと、想像通り入口からとてもゴージャスな雰囲気が作られており感動した。船員さんが明るい挨拶とコメントで出迎えてくれ、今からたくさんの非日常の体験が待っているんだという期待が高まった。
12. 外から見たら船だが、中に入ると船であることを忘れるくらい豪華だ。乗船直後にブランドもの等のショップが入っているのを見ると、ここはデパートかと思える。船内を隅から隅まで探検しようと思っていたが、これは回り切れるかどうか怪しいくらい広い。また、船員さんはすれ違うたびに笑顔で迎えてくれて、とても気分がいい。これまでの人生で体験したことのない体験をしている。
13. クルーの方々は皆フレンドリーかつ、話しやすく、こちらから話しかけた際に笑顔で応えてくれるだけでなく、困っているような素振りを見せると、相手から声をかけてきてくれて非常に助かった。乗船直後であったが、船内の通路やビュッフェは大変賑わっているという印象であった。
14. 船内ではいろんなブランドのお店がありショッピングモールにいるような気持になった。またスタッフの方も、まるでファミリーのような明るさとやさしさで楽しい時間を過ごすことができた。また、いろんな国の食事も存在していて、見て食べて楽しい時間だった。
15. 前回の船と比べて船のパブリックスペースはコンパクトに洗練されていた気がした。自分がクルーズ船の大きさに慣れていたこともあったかもしれないが、前回の方が船内のイメージが広く感じた。船員の方々は皆気さくて、そこは前回のクルーズと変わらないと感じた。
16. 船員さんの態度に関しては、msc よりドライでアバウトに感じた。某テーマパークのキャストが手を振るのと比べて、5割減程度の活力であった。また、救命器具の説明について、ほぼ終わりかけて聴き始めた人もそれで完了という形であった。ただ、早く遊びたいお客さんにとっては嬉しいものであるため、サービスの一部とも考えられる。メインのパブリックスペースは、msc と比べると個人的には小さく感じた。ただ、映えスポットのようなポイントは多く感じた。
17. 何回も乗船した経験があることも相まってほかの船とは対して変わらないと感じた。スタッフの態度などはとてもよく、ディナーも充実した時間を過ごせてよかったと思う。

18. 部屋は十分な広さで、清潔で、船員さんもとても優しくかった。船内もゴミひとつなく、パブリックスペース休めるスペースがたくさんあって、どこにいても船内を楽しめた。船の揺れもあまり感じなかった。だから、船酔いなども全くしなかった。
19. 自分のイメージでは、豪華客船の船員さんは静かな、少し壁を感じるような丁寧な対応をするのだらうと思っていましたが、実際に乗船してみると全く違い、私たちの期待を上回るサービス、陽気なダンスや言葉遣いで接してくださいました。今回のクルーズ船を楽しめたのは船員さんのサービスあってこそだと、帰ってきた今思います。
20. 乗船直後、船とは思えないぐらいの船内の豪華さに驚いた。またカフェや、バー、その他のお店がずらっと並んでおり、ショッピングモールの中にいるようだった。乗船前に想像していたより、船の中と感ぜさせないほどの明るさや、最先端の設備、豪華さに驚いた。
21. 乗った直後はやはり場所やカードキーの開け方など分からないことがたくさんあったが、クルーの人が困っている様子を見て、親切に対応してくれて大変なことはなく、快適に過ごすことができた。パブリックスペースもとてもきれいで本当にクルーズの中なのかと驚いた。船の中をすぐに一周できるだらうと思っていたが、想像以上に大きく 1 日で見て回るのが大変なくらい大きくて驚いた。
22. もっとクルーの方が堅苦しいと思っていたけれども、とても気さくて、英語があまり分からないのにも関わらず優しくかったことがとても嬉しかった。どの設備も予想より大きく、新しく綺麗だった。自分が体験したことのない富豪のような生活が出来そうだとワクワクした。
23. 想像を遥かに超えた船内の高級感溢れる内装にとっても驚き、感動した。ここが船であることを忘れてしまうくらい、おしゃれな空間でキラキラしていた。豪華客船の雰囲気をつんだんに味わえ、大興奮だった。また、船員さんの丁寧で親切な対応ですごく感じが良かった。
24. クルーズに乗ったことがなかったのでイメージもつかなかったんですが、船内がすごく豪華でほんとに驚きました。個人的に好きな高級感のある感じで何でもできそうな気分になれて楽しかったです。船員さんの態度も堅苦しすぎず友達のようなかんじでコミュニケーションがとれたのがよかったです。
25. 想像通りであった。ショー、バツフェ、アクティビティ、ディナー等のだこのスタッフも優しかった、全体的に明るい印象で気分がよかったです。
26. 座っていると揺れを感じ、船酔いの心配があったが、大丈夫だった。

船内でのコロナ対策への感想

1. 最初にビュッフェに行ったときに手洗ってくださいと言われたのは驚きだった。もう今はほとんどコロナ対策はしていない人が多いが、しっかり手を洗うことを促しているのは以前の教訓があるからなのだろうか。また、レストランやエレベーターホールなど至ところにアルコール消毒が置いてあるのでいつでも消毒できる環境であった。
2. ビュッフェの前でクルーが立っていて、手を洗ってください、と呼び掛けているのには驚いた。しっかりと対策をするように心がけているんだろうなと感じた。しかしながら他の場面では感染対策を感じることは特になかった。そのため、ビュッフェ前での他と異なる対応がより一層印象的に思った。
3. バイキング形式のレストランの入り口手前では常にクルーの方が 1 人以上おり、訪れる人全員に手洗いやアルコール消毒を促していた。また部屋にもアルコール消毒の道具が置いてあり、コロナウイルスの感染はおさまってきているが、対策はかなり徹底されていると感じる。
4. コロナという概念自体最近忘れていたし、船内でマスクをつけている人というのは私の知る限りでは確認していない。しかし、ビュッフェの出入口に多くの手洗い場が設置されていたり、その近くに立って乗客に手洗いを促していたりする様子を見て、コロナだけと言わず感染症そのものへの配慮を感じることができた。
5. 船内には、いたる所に消毒液が置かれており、非常に便利だった。また、ビュッフェの前に手洗いを義務付けている点も、清潔で良いなと感じた。強いて言うなら、焼きたてのピザを配っているエリアにも、手を洗える場があれば、さらに衛生的なのではないかと思う。
6. 特になかったように感じる。コロナへの対策は入国・出国のときから緩くなっているのを感じていて、シンガポール国内でもその雰囲気は同様だったので、海外に行きやすくなったなど改めて感じた。熱帯地方で、もしマスクをつけなければならなかったことを考えると、とても息苦しかっただろうなと感じた。
7. 基本的には劇場やレストラン、プールにおいても席が制限されたりといった印象は受けなかったが、船内でも風を感じることで換気がなされていることを感じたし、レストランに入る際に手を洗うように促され、アルコール消毒液を利用することもできたので、感染症に対する意識を持たれていることを感じた。
8. 正直この 1 年はもうコロナを気にする機会がなかったのも、コロナ対策に注目していなかったし、特に気になることはなかった。コロナ対策をする必要がなくなったという意味では、マスクを着用している船員さんはほぼ見なかったし、乗客にマスクの着用を義務付けられるシーンもまったくなかった。ビュッフェの入り口で消毒液を持った船員さんが手洗いの呼びかけを実施していたが、あれはコロナに限らずウイルスを蔓延させないた

めだと受け取っていた。

9. 最初にbuffetに入るときに手を洗わされたのが驚いた。たくさんの方が乗るクルーズ船なのでかなりの対策が必要になると思うが、あの大人数をさばいて衛生管理をするのは大変だろうと思った。一方でマスクをした人はあまり見かけず、かなり緩和されているのを感じた。
10. 乗船前に時間が分けられていることや、風邪をひいていないか口頭での確認があった。一方で乗船後は、船内では特にコロナ対策としては何も見られなかった。制限がなく動けたのは良かった。搭乗前にコロナに罹っている人がいなければ、船内では気を遣う必要がないので、乗船前検査はもう少し厳しくしてもいいように感じた。
11. 状況もかなり落ち着いてきたため、おそらくコロナ対策といったことはほとんどしていなかったように思えたが、とはいえ船内の清潔感や乗船前の様々なチェックから、コロナがまだ完全に落ち着いていなかったときでも、船内では安全な環境が作られているのではないかと思った。
12. コロナのことはすっかり頭から忘れていて、全く考えていなかった。ただ、コロナに限らず衛生管理という点では素晴らしかった。レストランでは、入る前にアルコール消毒をしていたし、スタッフの方々はテーブルや床など私たちが気づくよりも早く綺麗にしてくださっていた。船内は全体的に清潔に保たれていて、衛生管理という点で何の不満もなかった。
13. 乗船前から、チェックインの時間訳やチェックイン時の症状の確認など対策は徹底している様子であった。船内においても、buffetに入る前に必ず手を洗う必要があったり、至る所にアルコール消毒液が設置してある等、コロナ及びその他感染症について不安に思うことは無かった。
14. コロナ対策に関しては、あまり目につくものは正直なかったのですが、全体的にとっても衛生面がきちんとされていたと思った。ひよんなことから参加させていただいたクルーズ船のキッチンツアーではそれぞれのシェフの方がプロ意識を持って衛生管理をしながら料理を作っていてかっこよかった。
15. レストランに入る前に手洗いに誘導されたので、コロナに限らず一定の清潔感が確保されるシステムとなっているのを感じた。それ以外は特にコロナ対策として何かが講じられている様子は無かったように思えたが、昨今のコロナの位置づけを考えると妥当と感じた。
16. 各スペースごとに消毒液が設置されていた。対策として思い出されるのはこの程度である。結局、食事や水泳をする上で、潜伏期間のある感染症拡大を止めるのは難しい。どちらを取るかの問題である点は抜け出せない。
17. 正直コロナ対策に関しては何も思わなかった。強いてあげるとしたら、バイキング前の

消毒液と手洗い場はコロナ対策の一つであった。人々に手を強制的にあらわすのはよい対策だと思った。

18. コロナが今だいぶ落ち着いているのもあって、あまり対策はされていなかった。ビュッフェなども開放的に楽しめた。ビュッフェのトング、テーブル、イス、手すり、共有スペースが入念に消毒されている様子が見えなかった。ですが、清掃員が掃除している姿を何度か見たので、清潔には保たれていたと思う。
19. コロナ対策は特にされていないように感じました。周りでもあまり気にしてる方もおらず、私自身気にすることはありませんでしたが、今ももしかしたら気にする方もおられることを考えると、もう少しコロナ対策をした方が良いのかな?とも思いますが、自分自身は何も気になりませんでした。
20. ビュッフェの会場に入る前に手洗い場があり、手を洗う、またはアルコール消毒をしてから会場に入るかたちになっていたことから、安心してビュッフェ会場にあるトングやお皿を使うことができた。また、至るところに消毒液が設置されていたことが印象的である。ショーやアクティビティの際は人が多く集まっていたが、上手く空気の循環がされているように感じた。
21. アルコールの除菌の機械がところどころあり、また、ご飯を食べる前は手洗いをしていたので対策はできていたと思う。
22. コロナ対策はあまり見受けられなかったように思う。コロナ対策について意識することなく過ごしたからかもしれないけれども、何か対策らしい対策を強いられることはなく、またクルーの方が嚴重に意識しているようには思えなかった。消毒は置いてあったり、ビュッフェの前に手洗いをするよう指示されたりしたが、それがコロナ対策なのかは不明だった。
23. コロナが危険視されなくなったこともあり、コロナ対策はあまりされてないような印象であった。マスク着用も義務づけるところはなく、蜜対策も無かったと感じる。ビュッフェの時も自由に自分で取りに行くことができた。各場所にアルコール除菌があったり、ビュッフェのとき、手を洗うように誘導されるくらいだった。
24. 程よいかんじのコロナ対策でよかったと思います。バイキングの前に手洗いをしっかりすることやアルコール消毒を徹底していたので私たちも意識が向きました。一つだけ気になったのがバイキングなので不特定多数の人の飛沫などが大丈夫かなと心配になった部分もあります。でもずっと食事がある訳でも無く定期的に取り替えられていたのでよかったです。
25. バッフェの入り口で手を洗うように促したり、消毒液を手にかけている様子から充分コロナ対策ができてたと感じた。
26. みつになる環境はほとんどなく安心だった。ビュッフェは人が多くて少し心配になった。

クルーズ船としての船内施設（ハード面）全体の感想(船内施設・施設のレイアウトなど)

1. 船内のレイアウトはベリッシマと大きな変化はなかったが、ウォータースライダーがない代わりに、フローライダーがあったのは貴重な経験ができたのでそれはそれでよかった。しかし、パブリックスペースにあるトイレの場所が今回の船は微妙にわかりにくかった。そこだけが前回の方がよかったと思った点だった。
2. 以前乗った他社の船と比べて、全体の施設レイアウトは似通っていると感じた。例えば、屋内プールとビュッフェが隣同士にある点など。一方で異なっている点として、カジノがプロムナードの吹き抜けから見えてしまう場所にある点が気になった。中心にあるので集客上は良いのかもしれないが、雰囲気は台無しになっていると感じた。
3. サーフィンやスカイダイビング、バンパーカーなどの大型アクティビティの設備が整っていることに驚いた。かつ、これらの設備がほとんど滞りなく（故障したり）することなく運営されているという点についても普段からのメンテナンスが、行われていることが伺えた。
4. 一つ一つのホール・アクティビティ施設がそれぞれの個性を発揮するようなデザインが施されていたように感じる。その分一体感は少し失われてしまうように感じるが、それぞれの施設がダイナミックで見ごたえがあった。個人的には、シルクロードのショーが行われたホールのデザインが斬新でとても気に入っている。
5. 客数に対してエレベーターが少なく、エレベーターホールがいつも混雑していた。また、似たような客室が並んでおり、自分の部屋を見つけるのに苦勞したため、奇数と偶数でエリアを分けていることが一目で分かるようなレイアウトが施されてれば良いなと思った。その他の施設に関しては、どこも手入れが行き届いており、大変満足だった。
6. どこに何があるかを把握するのに1日半くらいかかった。そのくらい充実した設備で、船内を回るのがとても楽しかった。Drinkable water もいたるところにあり、海外でお金を気にせず水を飲めるというのは改めて幸せだなと感じた。初日に、船尾と船首を間違えて客室に上がってしまった時は、とても大変だった。。
7. 基本的にアクティビティやプール、又ビュッフェのフードの位置は船体の中央に集められており、人が船体の端に集まって重心が偏らないように、または船体の揺れが極力アクティビティや食事に影響しないように配慮されているのかと感じた。
8. ほぼすべての施設に中国語も一緒に記載された看板があり、エレベーターや案内表示もすべて中国語が記載されているのが印象的だった。中国語が日本語の漢字と似ていて、第二外国語が中国語であったのも相まって、英語を読もうとしても中国語が目に入ってきてしまう、とみんなと話していた。施設のレイアウトは前回と大きく変わったところ

はないように思う。クルーズ船ならではの、真ん中の階が客室用のフロアなので、下から上まで移動するのは時間がかかった。(エレベーターが沢山あるので苦ではなかったが。)

9. どこかに行くときに方向を間違ったり、アプリの地図を見ても自分が左右どちらに行くべきかわからなかったりしたので、今いる場所が船首側なのか船尾側なのか壁の色などでわかるようにするとよりいいと思う。
10. エレベーターが前後に6機ずつあったがやや少なく感じた。特にお昼時や下船時はかなりの時間エレベーターを待ったように思う。屋上では船尾部分にアクティビティが集中しており、船首に宿泊していると移動がやや大変だった。他は文句のつけようがないかと思う。プールが3つもあり、混雑せずに楽しむことができた。
11. 約 15 階建て、船の端から端まで行くの徒歩で約 5 分程度かかる、そのダイナミックさにとっても驚いた。基本的にどの階も、船の端の方に大きな施設があるといった簡単な構造になっており、旅の終盤では目的地に移動する際に特にマップを見ずに移動できるほど船内施設の位置関係が頭に浸透していた。
12. アウトドア系の施設は屋上付近に集中していて、インドア系の施設は下の方にあり、わかりやすかった。大人数で集まれる場所が思ったよりも多く、そこで時間ごとにイベントが開催されるため、どこに行ってもなにかが行われているような感じで楽しかった。特にしたいことがなくても、船内を歩いていけば興味のあることが見つかる点がよかった。
13. レストランやショップ、様々なアクティビティなど楽しめる要素がたくさんあったため、全く飽きることなく最後まで楽しむことが出来た。特に、プールの近くで無料で配布されているアイスや、深夜まで配布されているピザは前回のクルーズにはなく、どんな時間、どんな状況であっても楽しむことが出来た。
14. 船内施設は、ロッククライミング、サーフィン、バンパーカー、シアターなど陸上でもすべてをそろえることが相当難しいであろう施設がたくさんあり、正直びっくりした。完全に非日常的な体験ができるように考えられているなど感じた。特にサーフンは、日本でもあまりないと思うのでとてもいい経験になった。
15. 日本では味わえない施設にとっても魅力を感じた。カジノが最も象徴的ではあったが、それだけでなくバンパーカーやサーフィンなど、色々な体験が出来たと感じている。また、そのための施設が非常に充実していたと感じている。
16. フローライダーやバンパーカー、展望マシーン、ボルダリングの壁など、比較的目新しく感じるテクノロジーが目立った。また、大きな手やパンダの置き物、赤い靴など、フォトスポットとして使うことを意図して設計されたものを多数目にした。また、誰もが入れるショースペースが 2 箇所もあり、全てのお客さんを飽きさせない工夫を感じた。
17. 大人と子供が両方使えるプールが三つもあったことがよかったと思う。ただ船が大きい

すぎるせいで、端から端まで歩いたり、エレベーターがなかなかこない部分はあまり好きではなかった。

18. 船内は、まるでアウトレットかのような施設だった。ブランドのショップや化粧品、クルーズグッズ、日用品の売り場があり、イベント以外でもショッピングで楽しめるクルーズだった。イベント会場へもあまり迷うことなく、行くことが出来てよかった。

19. 初めに驚いたのはエスカレーターです。扉が開いた時に見えた絵がとても素晴らしいと感じました。また、煌びやかなラウンジが素晴らしかったと感じました。暖色のシャンデリアでキラキラした高級感があり、写真を撮ったり、その場にいるだけでも気分が上がるような空間でした。

20. エレベーターがガラス張りになっており、エレベーターに乗っている時間も楽しむことができた。また船の中心に螺旋階段があり、多くの方が階段で写真を撮っていた。客室に上がる階段には踊り場に絵が飾られていた。以上のように、施設のレイアウトや船内施設の一つ一つが新鮮なもので楽しむことができた。

21. ところどころに飾りがあり、おしゃれて見えて飽きなかった。どこで写真を撮ってもきれいで施設もクルーズ船の中とは思えないほど広かった。何不自由なく過ごせる空間で豪華だった。オブジェも見ることがないものがあって面白く、バーやレストランなど豪華な雰囲気があってよかった。

22. とても贅沢な作りだなと思った。贅沢で豪勢な印象だったので、品があるというよりは、財力を見せつけるようなコンセプトなのかなと思った。船の中でバンパーカーが1番気に入り、とてもいい経験になった。操縦しているだけで楽しかったのと、ぶつかった時に意外と体にダメージが来るのが面白かった。

23. 本当にここが船であることを疑うくらいの規模でとても興奮した。私が1番感動したのは、屋上の大型プールと大型のムービースクリーンとバーと周りの夜景が見えるところで、夜そこに行くとても綺麗でお気に入りの場所だった。また、プールなどは、ウォータースライダーなど子供が楽しめる場所となっていて、大人も子供もこの船で満喫できそうだと感じた。

24. 船内施設は最初は広すぎて何が何処にあるのかがあまり分からなかったんですが、2日目くらいから慣れてきて家みたいに過ごせました。フロアマップがきちんとあったので自分たちの行きたいところにたどり着くことが出来ました。分からない場所があっても船員の方がきちんと教えてくださったのでありがたかったです。

25. 全体的に高級感があったと思う。

26. 全体的に清潔が保ってあり安心して施設を楽しめた。

船内サービス(ソフト)の感想:①「レストラン・カフェ・バーでのメニューについて」、②「レストラン・

カフェ・バーでのサービスについて」、③「キャビン清掃、レセプションについて」、④「カジノについて」、

1. __①今回のディナーはステーキがあったのがとてもよかった。その他の料理もさすがの美味しさだった。今回は短かったので、行けていない場所もあったのが残念だった。②ディナーのレストランのサービスは申し分なかった。僕たちのウェイターの DEWA のサービスは賞賛に値する対応であった。ビュッフェ会場だけもう少し遅くまで開けてくれるとよかった。③清掃も素晴らしい仕事ぶりだった。水回りは一滴残らず拭き取っており、ベットはしっかりと整えられていた。散らかして出ていく自分たちが申し訳ない。④カジノは勝った、勝った、勝ったというぐらいの印象しかない。しかし、今回の船は最小ベットが大きかったのでかけるのに躊躇うときがあった。
2. __①(レストランについて)メインディッシュには多種多様な肉料理がありとても満足できた。ときおりアジア料理が選べられるようになっていたのも地域の特徴がありよかった。②(レストランについて)サーブはとても良かった。水もなくなったタイミングで注ぎにきて、料理も食べ終わったちょうどよいタイミングで皿を片付け、次の料理を出してくれた。担当してくれた給仕の愛想もよく、親しみやすかった。③特に不満はなく、よかった。タオルを動物の形に作って置いてあったりと、ホスピタリティもよかった。④不愛想気味ではあるものの、スタッフの対応はよかった。最低掛け金のレートがどれも高く、富裕層を相手にしていることをひしひしと感じた。どうしてディーラーはあんなに強いのかと感心した。
3. __①レストランではシンガポール料理のメニューやいわゆる洋食のようなメニューだけでなく、中華や日本食、トルコやインド料理などさまざまな国の料理が楽しめるようになっていた。②同じウェイターの方が常についてくださり、最終日のパフォーマンスも楽しめた。③部屋や船内のトイレなども常に綺麗に保たれていたため船内でも気持ちよく過ごすことができた。④カジノについては私自身は体験していないのでよくわからなかったが、実際に賭けをしていた人は楽しんでいたと感じた。
4. __①レストランやビュッフェの食事は言うまでもなく美味しかった。東南アジア発着ならではの料理も多くとても楽しめた。②水やジュース、紅茶が無料だったというのは何よりも魅力的だった。スタッフさんの対応もとても素早く非常に満足することができた。③部屋に在る間に清掃がくることはなく、徹底されているなど感じた。オンラインで部屋のレイアウトを変えることができたのも魅力の一つだった。④カジノに賭けることはなかったが、そこにも無料のお水があってゆったりと鑑賞できた。"
5. __①乗客を飽きさせない多様なメニューが用意されており、毎日オーダーするのが楽

しみだった。特に、様々な国の文化を感じられる食事が魅力的だった。②スタッフは皆笑顔が素敵で、親しみが持てる接客だった。③船内はどこも清潔で快適だった。④体験していない。"

6. レストランメニューは非常に充実していて、高級レストランに毎日行っている感覚でとても楽しかった。提供スピードもとても早く、メイン料理を食べられる分だけ頼めるというのもとてもわくわくした。清掃もとても行き届いていて、ルームメイク後にタオルでクマをつくっておいてくれたのが、遊び心があっていいなと感じた。カジノに関しては、クルーズの夜の顔といった感じて緊張感があった。かけてみたかったが、元手がなかったため周囲がかけるのを観察していたが、一瞬でお金が増えては無くなる様子にとっても非日常を感じた。
7. __①レストランでは、オードブルとメイン、そしてデザートを自分で選択することができるうえ、頼む数も自由ということに衝撃を受けた。自分の食欲や気になるメニューに合わせて食事をするのができるとも満足した。②ウェイターの方はとても丁寧で、すぐに水を注いでくださるなど気配りも素晴らしいと感じた。③とても丁寧だと感じた。一度忘れ物を取りに行った際清掃の方と鉢合わせてしまったのだが快く部屋に入れてくださったうえ、タオルでつくったティンバーも残してくださっていた。④体験していない。
8. __①東南アジアの料理が圧倒的に多かった。あとは、ステーキやピザはアメリカらしかった。メニューがスターター・メニュー・デザートの3つだけだったので、分かりやすく、量もちょうどよかった。②みなさん気さくで優しかった。3日目夜のウェイターさんによるダンスはこちらも明るい気分になって楽しかった。③キャビン清掃担当の方は良く話しかけてくださる方だった。清掃の際にタオルで象?かなにかを作ってくださっていて和んだ。レセプションも持ち物を無くして一度利用したが、丁寧に対応していただいた。夜遅くに行ったにもかかわらず列があり、忙しそうだった。④カジノをやろうと思ったが、掛け金が高かったので挑戦できなかった。ずっと賑わっていたのが印象的だった。
9. __"①様々な種類のメニューがあり、毎回の食事を楽しむことができた。7日間以上の乗船でも飽きないだろうと思う。②特にダイナーでは、スタッフの方がたくさん話しかけてくれて楽しかった。③清掃の方とは5分くらいおしゃべりして、名前を覚えてくれたようだった。レセプションでは、何を聞いてもわかりやすく答えてくれてとても頼りになった。④体験していない。"
10. __"レストランでは毎日メニューが変わっており、毎日食事が楽しみだった。どれもおいしく、食べ過ぎて苦しむまでがセットだったが、幸せだったと言える。レストランでのサービスも丁寧で、ダンスもよかった。キャビンの清掃も十分で、毎日清潔だった。プールサイドなども毎日丁寧に清掃されており感動した。カジノは最低ベット25ドルと聞いたので、初心者には手が出せないものだった。かなりにぎわっていたので、見る分には楽し

いかかもしれない。"

11. __メニューはアジアンテイストのものが多かったり、箸が準備されていたりと、乗船している客のバックグラウンドに合わせて構成されていることがよく分かった。常に何人かのスタッフがレストラン内を歩いており、なにか要望があったときにスタッフがいないといった状況が殆どなかった。キャビン清掃に関して、清掃員の方がとても気さくな方で毎朝すごく元気な気持ちにさせてくれた。カジノに関して、夜遅くまでご高齢の方が楽しまれており、客層に応じたアクティビティが提供できていると改めて思った。
12. __ (1)メニューの種類が豊富でよかった。日本人からすると、洋食や東南アジア系の料理もたくさんあって、普段とは違うものが食べれてよかった。(2)サービスは素晴らしかった。食べ終わったお皿は必ず下げた。また、話しかけると明るく答えてくれた。床やバイキング台などが汚れていると、私たちが気づくよりも早く綺麗にしてくれていて、美しさが保たれていた。(3)朝起きて部屋を出ると"GOOD MORNING"と挨拶をしてくれて、軽く雑談もしてくれてすごく印象が良かった。清掃後の部屋に、タオルで熊を作ってくれていて可愛かった。(4)カジノのディーラーは優しく誘ってくれたりやり方を教えてくれたりして、カジノをしたことがない自分でも居心地が良かった。
13. __ ①コース料理のメニューは毎日変わり、飽きることは全くなかった。宗教や食文化に配慮してのことだと思うが、豚肉のメニューが全くなかったのは驚きであった。②水が無料であり、サーバーの方も定期的に様子を伺いに来てくれたため、困ることはなく、快適に過ごすことが出来た。③昼近くや昼過ぎにキャビンで休んでいたこともあったが、一度もバッティングすることなく、部屋が清掃されており、大変過ごしやすかった。また、清掃員の方は毎度気さくに挨拶をしてくれ、気持ちがよかった。④全体的に最低レートが高く、遊びにくかった。そこそこの額負けたので悔しい。"
14. __ ①メニューについてはアジアを中心に様々な国の料理があり、見て回るだけでとても楽しかった。また肉だけではなく魚料理も存在しており、いろんな主義志向の方が楽しめるように工夫されていると感じた。②レストランにいたスタッフの方と目があうと笑顔でこちらに微笑んでくれてうれしかった。スタッフ一人一人が最高のサービスをしようと心がけていることが伝わってきてすごいなとかんじた。③カードキーを部屋に置き忘れてしまいレセプションにいった、つたない英語で状況を説明したにもかかわらず優しく丁寧に助けてくれて非常に助かった。清掃に関してはとてもきれいになっていたと思う。④日本でなじみのないカジノであったため独特な雰囲気を感じてよい経験になった。実際にあのプラスチックの丸い板がチップで実際のお金と連携しているのかと思ったら少し怖い気もした。"
15. __ レストランのコースメニューは何度も足を運んでなるべく多くのメニューを頼んだが、どれも上質だった。ビュッフェは東南アジア系の料理が多く、もっと世界各国の料理を

取り揃えているとより良いと感じた。また、サービスは概ね問題無かったと感じている。また、清掃もきちんと行き届いており、不潔で苦勞したことは一度も無かった。カジノは1 ゲームあたりのレートが高く、アジアの新興富裕層をターゲットとしていることを如実に感じた。

16. __①ビュッフェメニューについては、アジア料理を多めにしていると感じた。地域ごとに変えているとは言っていたため、シンガポール仕様ということか。普段目にしないものという意味では、欧米寄りにするのも良さそうだと感じたものの、日本食を求めていた他の学生を見て、普段通りのものがある方がより満足度が高そうとも考え直した。コースについては、様々な高級アジア料理に触れることができるとても良かった。日にやっけて大差はないと思ってしまったので、よりメニューチェンジしていると感じられるような刷新を願う。②ビュッフェサービスについては、きっぱりと閉店時間に片付けが終わるように動いていることに驚いた。日本の労働スタイルになんとかして取り入れたい。コースサービスについては、MSC と比べてドリンクメニューが豊富で、お酒を頼めという圧力も感じることなく楽しめた。貧乏学生としては、こちらの方が良いサービスを受けられる。③タオルもベッドも綺麗にされていて満足である。レセプションについても、夜中にクレジットカード登録をお願いしたにも関わらず笑顔で対応しており、教育を感じた。④カジノについては、MSC のときほどできていないものの、施設自体は充実していた。ドル札 UFO キャッチャーは勝手にズレるということを学んだ。"

17. __①メニューに関してはどの船も同じ会社であればレギュラーメニューが存在し、その航海ルートに沿った伝統メニューが追加されるシステムに関してはとても好感がもてた。このメニューシステムは顧客の旅の満足度を向上させるのに貢献していると感じた。②サービスについては基本的には完璧で常に顧客を気にしてくれている部分があり、とても快適だったが、たまに、サービスが雑なクルーがいて少し残念だった。③清掃に関しては毎日ベットメイキングをしてくれて、タオルで動物を作ってくれる点は毎日の少しの楽しみでありよかった。④カジノは運要素が高いものがあり、日本では味わうことのできない新鮮な気持ちを味わうことができた。

18. __①ビュッフェもコースもメニューの量は豊富だった。毎日違うものが出てくるので、何にしようか悩むほどだった。②船員の方がすごく優しく、陽気で嫌な顔ひとつせず、私たちの要望に答えてくれた。そして、日常的な会話もしてくれた。③毎日部屋の清掃に入ってくれるので、清潔さを保つことが出来た。施設内もゴミが落ちていることはなく、清掃員の姿も何度か見たので、清潔さを保たれていることがわかった。④カジノはしてないので分かりません。

19. __①訪れる様々な国の人がみんな満足できるような豊富なメニュー展開でとてもありがたいかったです。②私が日本人だとわかると、知っている日本語で話しかけてくださ

ったり、ダンスをしてくださり、素晴らしいサービスだと感じました。③掃除やレセプションなども綺麗にだったように感じます。ゴミを捨てる場所なども多くあったので満足です。④カジノをすることは無かったのですが、折角の機会なので見に行きました。別の世界に居るような景色を味わうことが出来、また違った新鮮で楽しい気持ちでカジノ見学することができました。私たちのような学生でも楽しめる見た目や空間で素晴らしかったです。

20. __①レストランでは初めて聞く名前の料理であふれていて、毎日食事の時間が楽しみであった。バーでは、ノンアルコールからアルコールまで多くの種類があり、選ぶことが楽しかった。②レストラン・カフェ・バー、全ての場所でのこやかにあたたかい接客をしていただけたことが印象に残っている。③クルーの方がキャビンの清掃に来てくれた際、距離感を保ちながら、部屋を綺麗にさせていただくことができた。④程よい暗さと賑やかさの空間で楽しむことができた。"
21. __二泊三日で食べきれないほどメニューは充実しており、魚や肉いろいろな国の料理が楽しめた。コース料理は贅沢でたくさん食べたという満足感があつた。サービスにおいても船員の方が進んで水を入れてくれたり、困ったときに聞いてくれたりしたのでよかった。清掃に関しても丁寧で依頼したサービスはすぐに提供されており、驚いた。いつでも清潔で特に衛生面で困ったことはなかった。カジノはイメージと違い、しっかりしており、上品で豪華な空間でよかった。
22. レストランのメニューは良く言うと色々な国の食べたことのない料理に挑戦できるものだった。あまり日本人向けのお料理が多いようには感じなかったのも、刺激的でおもしろかった。カジノは想像よりもずっと清潔で、パチンコなどよりも落ち着いた場所だった。大人の遊び場という感じで、治安の悪さや居心地の悪さをあまり感じなかった。
23. __①メインダイニングでは、自分で選んでコース料理を食べることができ、料理も高級料理を味わえた。ビュッフェレストランは、洋食料理の他に、中華料理も充実していて期待を上回る味だった。また、時間ごとに、少しずつメニューが変わっていて、それが楽しみだった。バーは、機械バーと屋上のバーへ行った。値段は、そこそこする感じたが、機械バーは技術に驚き、クルーズ船には、こんなバーもあるんだと実感した。②メインダイニングのサービスは、丁寧で親切であり、水やジュースのサービス、お客さん重視の接客だった。バーでは、店員さんが気軽に話しかけてくださり、話をしたり、また、後ろの景色を背景に写真を取ってくれたりとても親切だった。③清掃の方も会う度に感じよく、挨拶して下さった。部屋の清掃もしっかりとしてくださっていた。
24. __①レストランのメニューも選択肢がたくさんあって楽しかったです。肉も魚も選べたりデザートも種類が多くてよかったです。②レストランでも気軽なかんじに注文も出来たし、笑顔でサービスして下さったので緊張が解れました。③清掃では私たちの部屋

でアイロンがぐちゃぐちゃになっていたのを丁寧に片付けていてくれたり満足でした。会
うと挨拶をし合ったり良いコミュニケーションがとれたと思います。④カジノは行ってな
いのでサービスが分かりませんでした。"

25. __全体的に食事がとても美味しかった。船内もとても綺麗でゴミが落ちていたり、汚れ
ているところは見受けられなかった。バーはロボットがお酒を作ってくれる仕組みで注
文した人以外にもたくさんのお客さんが来て集まって動画を撮影しているのが印象的
だった。なかなかできない体験をすることができたと感じた。
26. __①メニューは、日本人向けが少なく、食はあまり楽しめなかった。②食品が不衛生に
感じることは無かった。

船内の SHOW やエンターテイメントの感想

1. デイナーが終われば、大体ショーがあるのがクルーズの流れだが、満腹と良い椅子の
せいで寝てしまうときが多い。いや、ここで寝てその後のイベントに体力を温存している
のかもしれない。ショー自体はすごくいいものであり、普通ならお金を払わないと見ら
れないクオリティのものばかりであった。
2. 每晚タイプの違ったショーがあり、様々なターゲット層を狙っているのだと感じた。
TWO70 のショーは工夫のある舞台装置を生かして素晴らしかったし、他のショー
でも、ドローンを使っていたりと、おもしろかった。
3. 全部で 3 つのショーを鑑賞したが、どれも見ていて楽しく、全く飽きないものであった。
1 番印象に残ったものは最終日前夜のもので、子供向けのものでしたがドローンなど
の技術が使われており、おもしろかった。
4. 素晴らしいショーはあまたあったがペナン寄港日の夜に予約していたシルクロードがそ
の中でも最も圧巻だった。類を見ないホール形の形で、予約していた甲斐もありソファの
上でゆったりと鑑賞することができた。天井から人が降りてきたり、スクリーンそのもの
がダイナミックな動きをしたり、最新の技術を取り入れてるのがひしひしと伝わり、非常
に見ごたえのあるものだった。
5. 乗客を驚かせるような仕掛けが施されており、見ていて非常に楽しかった。特に、ドロ
ーンを使った演出が印象に残っている。また、ショーで使用されていた音楽の中には、
有名な洋楽をアレンジしたものがあったり、客席近くまで演者が移動する演出があつた
り、見ている側を飽きさせない工夫が感じられた。
6. とてもきらびやかなショーで、以前 行ったことのある宝塚の歌劇に匹敵するショーを自
由に見れるのが凄いなと感じた。マジックショーは、たねを見破ろうと必死に目を凝らし
たが全く分からず、初めてマジシャンを目の前にして凄さを感じた。実際にマジックにエ

キストラとして参加してみたかった。

7. 最も印象に残っているのはシルクロードのショーであり、昼間にホットドッグやマフィンを食べながらのんびりコーヒータイムを過ごしていた場所が、プロジェクションマッピングとワイヤーアクションによってショーの会場になるとは思わなかった。きらびやかな演出と美しい衣装、洗練された演奏に圧倒された45分間だった。
8. 個人的には初日の様々な国をモチーフにしたダンスと歌のショーが一番好みだった。最近のポップスも織り交ぜており、非常に楽しかった。全体的に、テクノロジーを用いており、見たことのない光景を見ることができると、良い経験ができた。ダンスタイムやマジックショーはもちろん楽しかったが、東南アジアの人向けだと感じることもあった。
9. 陸でのショーのように、みんながそのストーリーや演出を知ったうえで見に来ているわけではないので、観客に大してショーのコンセプトなどを理解させるのが大変だろうなと感じた。シルクロードの内容はあまりよくわからなかった。最終日の花火ショーは、ショーという名前だったがみんなで踊れてとても楽しかった。
10. 2日目のシルクロードから見たが、とにかく船上とは思えない舞台装置に感動した。天井や地下から現われる役者には驚いた。動物に扮したパフォーマンスや迫力のある生演奏などどれも一級品だと思う。次の日はヒーローショーを鑑賞したが、映像を巧みに使った表現やドローンを使ったパフォーマンスが素晴らしかった。
11. 今回クルーズのアクティビティの中で一番私が感動したのが1日目に見たショーである。元々音楽やダンスに深い関心があるわけではなかったが、音や照明、ダンサーの方の素敵な服装や心に響く歌声に本当に感動した。他の日のショーに関しても同じく圧倒され、海外のミュージカルや芸術作品に少し関心が湧ききっかけになった。
12. もともとショーはあまり見ないタイプだったが、船内のショーはとても面白かった。クルーズという非日常の体験をしているなかで、ショーの音楽やパフォーマンスを見て、この体験を映画にしたとしたらこのショーがそのワンシーンになりそうだと感じ、印象的だった。ピアノの演奏にも参加したが、日本の音楽もリクエストに答えて演奏してくれて嬉しかった。
13. 今回は3度SHOWを見たが、どれも素晴らしかった。特にメインショーであるシルクロードでは、一般的ではない舞台の形を活かして、上から下からキャストが現れる演出は荘厳であった。最終日のデジタル花火ショーは、どちらかと言えばパーティーであったが、これこそがクルーズの楽しみであるというばかりに、楽しむことが出来た。
14. 船の上と思えないほど、どのshowもクオリティがたかく、とても見入ってしまった。特に印象に残っているのがマジックショーで、国、性別、年齢限らずすべての人が楽しんでいる姿を見て素晴らしいなと感じた。また、同ショーでは観客を巻きこんでより一体感が出るように工夫もされており、自分自身もとても楽しめた。

15. ショーは絢爛豪華という言葉がよく似合うほど派手な演出が使われており、非常に壮大な印象を受けた。また、マジックも中国文化の影響を色濃く受けた演出で、異国情緒あふれる感覚がして非常に良かった。全体的にショーやエンターテインメントは中国色が強かったように感じる。
16. MSC のものよりも馴染みの曲が多く、テクノロジーを活用した動きも多彩であったため、寝ずに見ることができた。シルクロードの 6 画面での表現や上下動、楽器の演奏、ヒロインの歌唱などとても調和をとりつつ迫力もあるものでした。個人としては、最後のショーのドローンの統率の取れた動き、演者の合わせに最も感動しました。
17. シルクロードやマジックショーなどそれぞれ個性あふれるショーであり、とても見応えのあるであった。最新の舞台装置を使うことによってより、立体的で普通のショーとは違う特別感があった。私はショーは眠たくなることが多いのだが、飽きることなく楽しむことができてよかった。
18. show は、クオリティがすごく高かった。一人一人のプロ意識を感じた。私たちが見た The silkroad は、素晴らしい演技と演出で、他では味わえない体験をした。他にもマジックショーや、ヒーローショーなども見て楽しみ、毎日飽きないほどのショーの種類だった。
19. プロのエンターテインメントを何度も見る機会があるなんて、なんて贅沢なんだと感じました。私自身、ショーや演劇が好きなので、日本で観るものとはまた違ったショーを観ることが出来て感無量です。プロの声、演技、パフォーマンスに動画を撮るのも忘れてしまうほど魅入ってしまいました。
20. 歌とダンスのショーでは、出演者の方々がいきいきと歌とダンスを披露しており、見ていて元気がもらえる内容であった。また、他のショーも、目が離せないようなものばかりであった。船の中ということもあり、ショーで使用する設備等にも制限があったと考えられるが、想像以上のもので素敵な時間を過ごすことができた。
21. 船内の SHOW は本格的でずっと見ていられた。それぞれにテーマがあり、何を表現しているのかがすぐに分かった。衣装が豪華できらびやかで見ていて楽しかった。歌と踊りどれも迫力があって印象に残るものばかりだった。特に舞台装置の仕組みが面白くて、光やドローンなど驚いてばかりだった。
22. 船上のショーなのに、あんなにも豪華にダンサーさんを使い、派手な演出をすることに驚いた。また、ドローンを飛ばすなど陸地でのショーでもなかなか見る事の出来ない演出があり驚いた。バーチャル花火は、花火自体も綺麗でしたが、クラブのように盛り上がり楽しかった。
23. ショーは正直、あまり期待していなかったが、思っていたより華やかでアクロバティックで圧巻だった。思わず、見入ってしまった。見てよかったと思った。プロの方のダンスと

歌は、とても魅力的で素晴らしかった。また、サービス精神旺盛でとくに子供を楽しませようとする姿勢が見えた。

24. 船内のショーはすごく刺激的で楽しかったです。ダイナミックでよかったですと思います。公演中は飽きてしまうことが多かったんですが飽きずに見ることが出来ました。また海外の公演を初めて観たので日本との違いも感じていました。日本はやっぱり和に重きを置いている感じであり、今回のショーは派手さがあって比較するとさらに面白かったです。
25. 新しい技術を取り入れたショーが多くあり、ショーのために早めに移動し席をとった甲斐があった。新しい技術を駆使したショーを見て、驚きの気持ちもあった。身の回りで見ることができないものを近くで見ることができて感動した。
26. クオリティが高く、楽しめた。早めに行かないと立ってみることになるの聞いていたので、全て座ってみることが出来た。

船内の施設でのアクティビティーに関する感想(ジム・ロッククライミング・バンパーカー・フローライダーなど)や体験型イベント(ダンス PARTY・ビンゴなど)の感想

1. 今回乗船したロイヤルカリビアンオブザシーズは体を動かすアクティビティがとても多かった。特に気に入ったのはフローライダーだった。今回は乗船期間が短かったので一回しか体験できなかったが、初めてサーフィンのようなものをしたので波にのる楽しさを知ることができた。また、ダンスパーティーは前回のクルーズでもしたが、270 でしたパーティーは他の客と一体感を持ってダンスしたので、とても楽しかった。国旗当てクイズなどインテリ系のイベントもあり、ゆっくりと楽しめるものも満載なのがクルーズのいいところだと思った。
2. どのアクティビティも、船の上にこんなものがあるのか、と感じられるようなものばかりで驚いた。長期間の旅であったら飽きるアクティビティも多いのだろうが、数日の旅だと目新しさが勝り、十分に楽しむことができた。ダンスパーティーについては、ヘッドホンをつけるものがあったり、趣向を凝らして飽きないように設計されていることが感じられた。最終日に花火のパーティーがあるのも、最終日らしく感じられてよかった。
3. サーフィンをしたことはなかったが、フロー・ライダーに挑戦した際はインストラクターの方が丁寧に説明してくださったので、楽しむことができた。またバンパーカーの会場のようなお大規模な施設があることにも驚いた。、ダンスパーティーでは知らない乗客の人もコミュニケーションを取ることができ、より楽しむことができた。ロッククライミング等にはあまり挑戦できなかったが、また機会があれば挑戦してみたいと思う。
4. "バンパーカーに関して、アクセルが一個とハンドルが一個とという簡素な作りだったの

で運転が苦手な私でも非常に楽しむことができた。大人から子供まで楽しめるので人気で大行列なのも無理はないと感じた。衝撃はかなり大きいながらも、安全装置は機能しており安心して楽しめた。フローライダーに関して、サーフィンを数回経験したことがあるので非常に楽しめた。ただ、順番で並んでいても割り込みがあったり、それが規制されていなかったりということもあり長時間待った。強い日差しの中では心地よくなかった。"

5. 船上でこれらのアクティビティを体験できることに驚きを隠せなかった。海の上にいるにも関わらず、一切の揺れを感じさせない技術に感心するばかりだった。また、屋内と屋外のそれぞれに魅力的なアクティビティが用意されており、天気に関わらず、一日中遊んで楽しめる点も素晴らしいと感じた。これはクルーズ特有の高揚感からくるものなのか、多様な国籍の人が集まっているからなのか分からないが、ロッククライミングで上までたどり着いた時や、フローライダーで上手く波に乗れた時など、他の乗客の「成功」に対する称賛の声や、応援の声などが多く飛び交っており、人との交流が生まれやすい空間だと感じた。
6. 普段はあまり好んでダンスをする方ではないが、今回は場の雰囲気も相まって自分から踊り出してしまった。DJの音楽、MCの盛り上げによって会場のボルテージがどんどんあがっていくのがとても楽しかった。他にもたくさんのアクティビティに参加したが、船上にフローライダーの施設があるのは驚いた。運営上のトラブルがあったものの、インストラクターが冷静に対処してくれたので気持ちよく楽しむことができた。
7. 海上でアクティビティができるという高揚感があった。自分はプールやフローライダーをもっぱら楽しんでいて、水が海水ではなく、塩味がないように調整されていることに驚いた。船上であることに加え、プールやロッククライミングといった全身で楽しめるアクティビティができるという非日常感を楽しむことができた。
8. フローライダーは見たこともなく体験するのも初めてだったので、非常に興味深かった。フローライダー、ロッククライミング、有料の浮遊アクティビティは危険も伴っているアクティビティだったが、しっかりとスタッフがついていたので安心して楽しむことができた。個人的に、ソラリウムの雰囲気が非常に気に入った。プールとジャグジーに行けなかったのが心残り、ショートクルーズだとすべての施設を利用するのはなかなか難しいと感じた。乗客の年齢層が若かったので、ダンスパーティーでは乗客皆も積極的に踊って盛り上がっており、楽しかった。
9. ジムは、昼に利用すれば海を見ながら運動することができるので、なかなかない経験で面白かった。ロッククライミングやフローライダー等は興味はあってもチャレンジする機会が少ないので、クルーズで気軽に体験できてよかったと思う。卓球台等も設置されており、今回は中国人が多かったためか常ににぎわっていた。スペクトラムオブザシ

ーズの次の航路は上海-日本だと聞いたので、卓球台をもっと増やすと中国人の満足度も高まるのではと感じた。

10. ロッククライミングには初めて挑戦したが、腕をプルプルさせながらなんとか頂上までたどり着いた。上からの景色はさぞ綺麗だっただろうが、怖くて見れなかった。思っていたよりも疲労があり、翌日手が震えていた。フローライダーも体験したが、水しぶきが気持ちよく、目線の先は海で非常に美しかった。バランスを取るのが難しかったが、インストラクターの指示を聞きながらやると上手くいった。いつかは立って波に乗れるようになりたい。最終日のダンスも全力で楽しんだ。みんなと一心不乱に踊った。
11. 私はジムを頻繁に利用したが、非常に快適に運動を楽しむことができた。ジムはとても大きな窓に囲まれており、少し目を外にやれば広い海が広がっており、とても気持ちよく体を鍛えることができたと思う。また、冷水機や無料でタオルを使えるといったサービスも日本の自分が通っているジムにはないもので本当にありがたかった。ダンスパーティーに関して、ダンスを通じて、そこまでうまく英語が話せなくても、海外の方と仲良くなるという体験が自分にとっては非常に刺激的だった。自分から積極的に行動すれば、どんな人とも仲良くなれるという自信がついたような気がした。
12. ジムは設備が揃っていて、広々と使えてよかった。また、壁が一面ガラス張りになっていて、海からみるシンガポールなどの都市がとても綺麗だった。こんなところで筋トレができることは今後一生ないと思った。また、サウナは温度が高く気持ちよかった。ロッククライミングは、最初は簡単そうだと思っていたが、高く登ると思ったよりも怖くてドキドキした。バスケットボールもプレイしたが、コート内にいる他のお客さんと一緒にプレイすることができて、少し交流ができた点がよかった。久々に運動もでき、ブルーライトを浴びない充実した生活を送ることができた。
13. ロッククライミングとバンパーカーを体験したが、どちらも非常に興味深く楽しむことが出来た。前者については、初めての挑戦であったが、スムーズに挑戦することが出来た。後者については、バスケットコートも兼ねている場所であったため、営業している時間が短く、その点は残念であった。
14. 陸上でもなかなか体験することが難しいアクティビティを船の中でできること自体も十分すごいのに、スタッフの方がきちんとついてやり方を教えてくれることで安心して行うことができるようにしているサービスも素晴らしいと思った。どのアクティビティもとても楽しく、一生の思い出になった。
15. サーフィンとバンパーカーが特に印象に残っている。これらは日本ではまったく聞いたことがなく、現地に着いてから初めて知ったアクティビティだったが、非常に楽しく、非日常を味わうクルーズを象徴していた。とても良い体験だった。
16. ジムは端っこに追いやられ、とても狭かった。ただ、混雑している様子もなかった。船上

でのロッククライミングはとてもテンションの上がるものであった。もう少し難易度の高いコースがあっても良かった。バンパーカーは、外から見るほどは面白いものではなかった。難しいところではあるが、もっとハードでスピード感のあるものに乗ってみたい。フローライダーは、初体験でとても楽しいものであった。最初に乗った時は英語が分からずうまく指示通りできなかったものの、他の人を観察することで乗り越えた。ダンスパーティーは非常に楽しかった。ゼミのみんなで踊って、お祭り騒ぎできて、強く残る思い出の一つとなった。

17. 船の中でバンパーカーというテーマパークでしか体験できないアクティビティを体験したのはとても新鮮なこと気持ちだった。またグループで参加するによってより楽しめるアクティビティであると思った。また、フローライダーもロイヤルクルーズならではのもので年齢に関係なく楽しめるアクティビティだと感じた。また無料で参加できるイベントでは自分たちのグループだけでなく他の人との交流もできる貴重な体験だと思った。
18. 3泊4日は短くて、ダンス party にしか、参加出来ていませんが、とても盛り上がりました。会場の一体感が出るほど盛り上がりを見せており、会場にいるほとんどの人が楽しんでダンスを踊っていた。前でダンスを誘導しながら踊るイベントもあり、ダンスをあまり踊らない人も楽しめるイベントだった。
19. バンパーカーやフローライダーなど、日本であまり馴染みのないようなイベントに参加することができる素晴らしい機会になりました。大人も子供も楽しめる施設が多くあり、どのアクティビティも全ての人が楽しめるように配慮がなされていました。ダンスパーティーでは、老若男女がダンスして、他国の人と関わりながら踊ることが出来たので、とても楽し感じ、印象に残っています。一日目は踊ることが恥ずかしく、抵抗がある人でも、最終日には一番前で思いのままに踊るようになれる楽しいパーティーでした。また、そのような空間を作るサービスが優れていると感心させられました。
20. ジムでは様々なマシンが揃えられていて、綺麗な景色を見ながら運動を楽しむことができた。また、バンパーカーに乗るのは初めてであったが、賑やかな雰囲気の中、他の乗船客の方々とぶつかりながら遊ぶことが楽しかった。ロッククライミングでは、多くの乗船客が並んでいたため、順番待ちの時間が長くなりそうであると感じていたが、クルーの方々がスムーズに対応してくださり、短い待ち時間で楽しむことができた。
21. 普段船に乗らないときでもないような体験をできてとても楽しかった。ロッククライミングに初めて挑戦した。思ったより大変で登り切れるか心配だったが上まで行けたのでよかった。バンパーカーも乗ったことがなかったが、みんなで楽しめるアクティビティで盛り上がった。その他アトラクションも見えて楽しかった。最後のダンスパーティーは一体感がとてもあり、普段あまり踊ったことがなかったが、それでも一緒に踊れてほんとうに満足感があった。

22. ロッククライミングを体験した。普通にロッククライミングをやってみようとする、なかなかにお金がかかったり、少しやってみるだけでいいのに何時間か拘束されたりするので、ほんとうにちょうど良い体験が出来た。バンパーカーは知らない人ともぶつかり合い、面白い経験になった。
23. バンパーカーは、大人気でとても並んでいた。まず、船の中でこゆうゴーカートのような遊びができることに驚いた。子供に人気であった。私は、とても下手だったけど、楽しかったし、他で経験できない事なので、して良かったと思う。ダンスパーティーは、船員さんの盛り上げとみんなのノリで、楽しい雰囲気だった。外国の方と交流もでき、本当にいい経験になった。
24. バンパーカーに行ったのですがかなり並んだので人気なんだなと思いました。実際乗ってみると操作が難しくあまり動きませんでした。あと他の人と当たったときの衝撃がすごくて怖かったです。あと花火のダンスパーティーのようなものに行きました。人生でクラブとか行ったことが無かったのでどんな感じなのか分からなかったのですが楽しかったです。知っている曲が流れたときは気分がよくてノリノリになれました。花火のプロジェクションマッピングも綺麗でした。
25. 初めてすることで失敗することもあったがスタッフの方が優しく楽しく教えてくれた。英語が理解できないことも多々あったが、それでも一生懸命教えてくれたのが嬉しかった。
26. 客が、楽しめるように配慮が行き届いていて楽しかった。

"クルーとのディスカッション(①ホテルマネージャー、②レストランマネージャー、③アクティビティーマネージャー)の感想

1. __①ホテルマネージャーの話はとても簡潔にまとめられていて聞きやすかった。キャビン管理する仕事にとっても誇りを持っているように感じた。②レストランマネージャーは陽気な人だった。温かい料理は皿も温かくして出すというのはすごくプロ意識を感じた。③アクティビティーマネージャーはこんな貴重な経験できることはそうないからしっかりいろいろなことを体験するべきだと話していたのは印象的だった。
2. __位の高いクルーだったからかもしれないが、どのクルーも誇りをもって仕事をしていることが感じられた。キャリアパスが明確で、ここでよい結果を出せば昇進できる、という意識があることが感じられた。どのクルーの話も、仕事の裏側について聞くことができ、興味深かった。質問をする機会が設けられていたが、自分が気になっていることを聞いてよかった。
3. __①レストランマネージャーの方も話されていたが、おもてなしを重視しているという話

を聞いて、日本のおもてなしの精神と似ているところがあると感じた。②お話の最後にウエイターの方々の仕事がどのくらい大変かということをお話されていて、非常に良い職場環境なのだろうと感じた。

4. __①船籍について先輩が質問していて制度的に船籍を数年に一度変えなければいけない、といった主旨の回答があったと思うがもっと自分で調べてみたいと感じている。②サービスへのこだわりを直に感じた。食事の温度と皿の温度を対応させているなど細部までのこだわりを知る良い機会だった。③昇進に対する意欲が非常に強い人だと感じた。完璧に実力主義で日本の年功序列制とはかけ離れた制度の外国船だからこそより良いサービスへのモチベーションを上げやすいのではと感じた。"
5. __①仕事で世界を旅する魅力や、訪れた国々で夢を実現する楽しさを知った、②レストランでは、様々な国の文化を取り入れたメニューが用意されていると感じていたため、実際にそのような工夫が施されていることが分かり、嬉しかった、③「絶対に体験すべき」と仰っていたアクティビティTOP3を、ディスカッションの後に体験してきた。陸では味わえない珍しい経験を売りにしている点が魅力的だと感じる。
6. __レストランの厨房には、もっともっと人がいると思っていたが、数人で回しているというのはとても驚きだった。実際に中を視察できるアクティビティがあったようなので、参加すればよかったと思った。船の重役が漠然とした質問にきちんと答えてくれる姿がとても印象的で、自身の英語が伝わったうれしさもあった。
7. __①お客様をもてなすために会社としても、船単位でも気を配られていることを感じた。②たくさんのお客さんが思い思いに利用するビュッフェは勿論、レストランにおいてもお客さんによって注文するメニューは異なる為、多くの調理人がいるということに加え、航行する地域によって提供する料理のレパートリーも変えているということが印象的だった。③お客様に楽しんでもらうことは勿論、マネージャーの方も心底仕事を誇りに思っていて楽しんでいるようにお見受けした。どんなアクティビティが船に価値をもたらすのかよく考えられていることを感じた。
8. __①ホテルだけでなく他の部署の話も時々話していただき、クルーズの宿泊の部分がどのようなものなのか知ることができた。②ダイニング、ビュッフェ、有料レストランなどあれだけの量のレストランをマネジメントしているのは組織としてもマネージャー個人としても大変なことは要因想像できるので、感心した。ディスカッション後の食事では毎度挨拶をしにきてくださったのが印象に残っている。③クルーズ船で働くことの魅力、どのような心持で普段業務にあたっているかが伝わる方だという印象を受けた。
9. __①前日に客室清掃の方とおしゃべりしたのもあって、クルーの生活について知ることができてよかった。1年のうち9カ月も海の上にといたら、陸に持っている家が埃まみれになるのではと気になった。②飲食店で働いていた経験があるため、5000人以上も

のご飯を数日にわたって作り続けることの大変さを感じた。③通常とは違う状況下で安全が確保でき、乗客の満足度を高められるようなアクティビティの選定はかなり難しいだろうと思う。"

10. __日本語をそのまま訳して質問しても上手く伝わらなかったように感じた。クルーズ船の規模にはやはり驚き 5000 人の乗客に対し 1000 人のクルーとサービスの手厚さがうかがえる。またレストランのメニューを考えるのは本部でそれだけ消費と搬入がきっちりしていないとできないことだと思った。
11. __ホテルマネージャーやレストランマネージャーの方のお話を通じて、クルーズの寄港地の決定や、乗船する客に提供するメニューなどは、フロリダのマーケティングの部署の様々な検討によって決定されていることが分かった。レストランをあとにするときも頻繁に今回のレストランが良かったかといったアンケートをされていたのも、すべてマーケティングに活かすためのデータ収集なのだろうと思った。
12. __マネージャーの方々は気さくて、ユーモア溢れる話し方で話に引き込まれた。こういう方々がマネージャーをされているから、この船のサービスは素晴らしいんだと感じた。また、一方的なコミュニケーションではなく、私たちがした質問をきっかけに、こちらにも話を振ってくださり、良い時間を過ごせた。ホテル・レストラン・アクティビティーすべて、理解を深めることができた。
13. __①クルーズの清掃などの話だけでなく、船員の生活やスケジュールまで詳しくお話を伺うことが出来、大変興味深かった。船籍のお話も大変勉強になった。②温かい料理には、温かい皿を、冷たい料理には、冷たい皿をというように、食器の温度にまで気を使っている点には驚き、その後の食事から意識し始めた。③すべてのアクティビティがいかに安全を考えられて運営されているかということや、その時々需給も考えていること等、勉強になる点が多くあった。"
14. __それぞれのマネージャーがプロ意識を持って接客しておられて、刺激を受けた。またお話の中で出ていた船内で出た汚水をきちんと清潔にしたうえで海に流しているという仕組みや海水を水に変えてプールの水にしているなども船に搭載されている技術の高さにも非常に驚かされた。
15. __クルーたちは皆陽気ながらも信念を持ってサービスを提供しているというのが伝わった。彼らはみなエクスペリエンスに重きを置いており、スタディの前にエクスペリエンスしろとしきりに言っていたことがとても印象に残っていると共に、見習わなければならないマインドだと感じている。
16. __①船籍や水に関する説明が興味深かった。特に水に関して、プールの水の塩気を浄化して利用できる点に進化を感じた。ただ、塩水も懐かしく、求めたく感じる。②レストランマネージャーに関しては、実力主義の評価体制であることに面白味を感じた。5 年で

マネージャになる人もいれば、20年同じポジションのやつもいるという言葉に胸に仕事を頑張りたい。(F)じいくんが教えてもらった、close!ではなく how?と聞くホスピタリティにも感心した。③アクティビティマネージャは、様々な人々の遊びに関する興味を捉えようとされていると分かった。"

17. __ 普段のっているだけではなかなか話すことのないクルーとのディスカッションでは、私たちが快適に船で過ごしている裏側には様々な工夫や、システムが存在することがわかった。毎回乗船した客にフィードバックをしてもらい、それをもとにどのように改善するかという至ってシンプルなものであるが、それがサービス向上の必要不可欠なものであると再認識させられた。
18. __ ①ホテルのマネージャーはとても親しみやすく、私たちが宿泊し、学びに来てくれたことに歓迎してくれた。1つ1つの質問に丁寧に答えてくれた。②レストランマネージャーも、私たちが英語が苦手なのを考慮してくれて、ゆっくり話して下さり、理解することが出来た。レストランのたくさんの人が美味しいご飯を作ってくれていることが分かり、もっと味わって食べようと思った。③アクティビティも安全面を考えて運営してくれていることがわかった。心からスポーツを楽しんで、それを人に伝えたいという思いがみえた。
19. __ ①今後聞くことのできないような詳しいホテルの話を知ることが出来ました。ジョークも混ぜつつ、お客様が楽しめるようにと自身の思いを語って下さり感動しました。②レストランの素晴らしいサービスはマネージャーやそれに携わる人たちのこだわりから作られていると改めて感じさせられました。③私たちがアクティブにさせてくれるような雰囲気、話し方から、もっとこの船のアクティビティで遊びたいと感じさせてくれました。こうして私たちが3泊4日間アクティビティを楽しめたのは、マネージャーのような人がいるからこそであると思いました。
20. __ ①文化が違う様々な国からの乗船客がいるため、どこの国からの乗船客がいるか、またその方々への対応について細心の注意を払っていることが分かった。②料理を提供する際に食器の温度にまで気を配っていることを知り、私たち乗船客を満足させるための努力に驚いた。③アクティビティを行うタイミングや置かれるスタッフについても深く考えられており、さまざまな事態を想像して、楽しめる工夫がされていることが分かった。
21. __ ホテルマネージャーからは船内の洗濯や給料、船における仕組みを聞いた。レストランマネージャーからはどこから仕入れているか、何を意識しているかなどを聞いた。アクティビティマネージャーからは仕組みや個人のお気に入りのアクティビティなどを聞いた。どのマネージャーにおいてもたくさんの様々な人が船の運営において関わっておりすごいと感じた。
22. __ クルーの方々が紳士に丁寧に質問に答えていただきとても貴重な機会になった。日

本食は人気なのかお聞きしたところ、日本食は寿司、鉄板焼きの有料レストランがありとても人気なことがわかった。今度お聞きすることがあったら、なぜ日本食は世界中で人気なのか考察をお聞きしたい。

23. __どのクルーさんもチップは、船の料金に含まれているにも関わらず、サービス精神旺盛で、仕事に対して非常に熱意をもって取り組んでいるんだなと感じた。下手な英語での質問でも、丁寧に回答してくださった。クルーさんと話せる機会もなかなか無いので、クルーさんの思いや仕事の概要など知れていい機会になったと思う。
24. __①クルーの方に直接お話を聞けることはとてもレアだと思うのでしっかり聞いてよかったです。②私はレストランマネージャーに質問だったのでちゃんと英語が伝わるのかすごく不安でしたが回答していただけて嬉しかったです。③ アクティビティはさらっとしか情報をみれてなかったのがこんなにたくさんあることに、驚きました。"
25. __英語が理解できないことが多々あったが、クルーズ船で働いているスタッフのお話を聞くという中々できない貴重な体験ができてとても良かった。疑問に思っていたことや、他の学生の質問に対しての回答を少しだけ理解できたと思う。
26. __聞き取れない場面が多かったが、貴重な経験になった。

乗船港(シンガポール)での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想、観光地としての魅力など)"

1. シンガポールのターミナルはさすがの大きさだった。クルーズターミナルに出入国検査の自動化ゲートが配備されていたのはシンガポールの強さを感じた。今回シンガポールで泊まったところはリトルインディアあたりだったので、シンガポールの中でもマリーナベイなどとは全然違うかった。国土は小さいがさまざまな色がある国だった。
2. ターミナルは大きく、しっかりと整備されていて、さすがシンガポールの港だと感じた。観光地としては、マリーナベイの周辺に主要な観光スポットがコンパクトにまとまっていて、便利な観光地だと感じた。歴史的な観光資源というよりも、新しい観光地という感じで、面白みは少なかったが物珍しさはあり、シンガポールの若さと勢いが感じられた。
3. 乗船時に私は 20 歳以下だったため、別途で手続きが必要であったので不安であったが、その手続きもスムーズに完了したため安心した。また、下船後に観光した際非常に多くの日本人がいたことが印象的であったが、それだけ英語が苦手な人でも過ごしやすい国なのだろうと感じた。
4. 港湾としては非常に整備されているという風を感じた。タクシー等の行列はできていたが、あの規模感の船であそこまで抑えられているのはすごいと感じた。観光地としてのシンガポールは、無論マリーナベイやマーライオンなど美しい場所がたくさんあるが、個

人的にはリトルインディアなどガイドブックの表紙に載らないような場所を見るのも良い経験になると思う。

5. 私たちが乗船していた船以外にも、多くの船が港に停泊していたことが印象的だった。世界中の人や物が一斉にこの港に集まってくるのだと思うと、様々な交流や出会いが生まれる場所にいるということに高揚した。また、乗船時の対応もスムーズで、空港の審査よりも簡易的だと感じた。
6. 日本のパスポートを持っていることで、様々な手続きが簡易化しているように感じて、改めて日本の信頼性が高いなと感じた。本来のチェックイン時間よりも早く乗船することができ、臨機応変に対応してもらえてとても気持ちよく乗船できた。
7. 駅から港がそれほど遠くなく、キャリーケースと荷物を持ちながらも苦勞せずにとどり着くことができたのはよかったのだが、受付するまでに座ることができる場所があるとありがたいと感じた。また、人の導線がごちゃ混ぜになっている部分も見受けられたのでスムーズに受付に向かえる形になればと思う。
8. 駅からクルーズターミナルの行き方が少し難しかった。ただ、あの駅はクルーズ利用者以外いなかったのが混雑していなかったのが良かった。ターミナルは非常に広く売店もあり、沢山の乗客が待つ施設として良かったと思う。また、港の立地が非常に良く、有名なマーライオンやマリナーベイサンズに近く、観光しやすいと感じた。
9. 日本国内でもさまざまな港湾を見学したことがあるが、シンガポールの港湾の規模は段違いだと思った。また、出国の手続きが簡便で、乗船時にも待ち時間が短かったのがよかった。ターミナル施設では、乗船までの動線が少しわかりにくかった(Arrival 表示はあるのに Departure 表示がないなど)。
10. 港のターミナルは人でごった返していたが、事前にチェックインしておくとお通はかなりスムーズだった。出入国もあっという間だった。シンガポールの観光名所としてはマーライオンやマリナーベイサンズとやや少な目であるため、クルーズを体験するという観光も人気なのではと思った。
11. 乗船港に一番近い地下鉄の駅から歩いて港まで向かったが、全く混雑もなく、スムーズに歩くことができ、また自然豊かな公園のような場所に囲まれた港で、非常に快適に乗船までの時間を過ごすことができた。ターミナルの中はさすがに少し混雑はしていたが、とはいえスタッフの方が非常にてきぱき客をさばっているのが印象的で、スムーズに乗船することができたように思う。
12. 海側から見るシンガポールのビル群は圧倒的だった。小さな国だが、国全体が栄えていて、国全体がほぼ港町である点が個性的だと感じた。無駄な部分がないという印象で、先進的なまちとしてのイメージが付きやすい国だと感じた。観光地としてはマリナーベイサンズをはじめ、海沿いの美しさ、コンテナターミナルなど港湾機能のスケールの

大きさなどがあると思う。

13. 数多くのクルーズ船が発着しているからなのか、ターミナル自体が非常に広く整っている反面、最寄りの駅からクルーズのチェックイン場までがやや遠い印象を受けた。乗船する際にはイミグレやパスポート、チェックが何度かあったが、特に列が詰まることなく、スムーズに乗船できた。
14. 地理的にアジアの重要都市であるシンガポールの港の大きさに驚いた。また観光地としてもマーライオンを始め、圧倒的な技術力を活かして観光客を楽しませるショーやアクティビティがあり、もう一度訪れたいと思える都市だった。そして何より街自体が日本と同じくらい清潔であり、そこも過ごしやすさにつながっているのだと思う。
15. シンガポールは洗練と混沌の共存した街だと感じた。港においても感じるが、日本よりもかなり先進的な技術や設備を用いている部分もある一方、日本では考えられない旧式のシステムを未だに利用している部分も見え、その幅が大きい国だと感じた。
16. 駅から港までの道が1本で行きやすい。乗船時も綺麗に流れが作られていた。観光地としては、空港自体のショッピングモールや、そこから近い位置に中心部があるためとても観光しやすい都市である。色々な場所からのマリーナベイサンズを見ることができて、それが楽しみの一つとなるレベルである。
17. シンガポールのターミナルはとてもシンプルで、乗船時の手続きやそのあとの誘導などもとてもスムーズで苦戦することなく乗船できたと思う。シンガポールの観光地としての魅力は個人的には感じられなかった。シンガポールは観光地というよりも発展した都市という表現の方がただしと思われる。
18. 港は、人が多すぎて、待ち合わせ場所を見つけるのに苦労した。タクシーで港まで向かったが、乗り降りするのに時間がかかった。手荷物を預けるのも、船に乗るまでの審査も少し時間がかかった。ここでは、クルーズ以外の施設はなかった。
19. 乗船港からすでに陽気な雰囲気を感じ取ることが出来ました。目が合うと笑顔を向けてくださったり、ありがとうと日本語で答えてくださる方が多くいらっしゃる空間に驚きました。海外ということで怖い思いもするだろうと身構えている部分がありましたが、それは杞憂でした。乗船前からサービスは始まっているのだと感じることが出来ました。
20. 乗船前に荷物を預ける際に、スムーズに対応していただき、待ち時間がとても短かったように感じた。また、パスポートの確認など空港のような設備がそろっていたことが印象的だった。乗船港であったシンガポールはマーライオンやマリーナベイサンズがある駅から近く、前日にシンガポール観光も楽しむことができた。
21. どこに行けばいいか迷っていた際に声をかけてくれて、案内してくれた。何をすべきかをしっかり教えてくれたので、あまり迷うことはなかった。常に笑顔で日本人だと分かるように簡単に日本語で挨拶や手を振ってくれたりしてよかった。手続きはスムーズで待ち時

間もあっというまだった。

22. シンガポールはイメージと異なった。シンガポールは富豪が集まるリッチな街であると思っていたのですが、市街地以外はそうでもなく、発展途上な部分も垣間見えた。また、物価が高く、どこに行っても何をしても高かったのですが、ユニバーサルスタジオは比較的良心的だったので、不思議な街だと思った。
23. シンガポールは、治安が良く、街も綺麗で、かつ英語が通じる国であるので、観光地として訪れやすい国だと感じた。乗船時の対応も親切であったり、観光するときにも、交通機関(バスや電車)も非常にわかりやすかったりと、初めての海外旅行にぴったりな国だと思った。シンガポールは、近未来の雰囲気を感じられ、どこに行っても新鮮でとても楽しめる国だと思う。
24. チャンギ空港から港までタクシーで行ったのですが窓から見える景色が東南アジア特有の日本にはないような植物が多くて、癒されました。日本よりも緑や花が多い印象で綺麗だなと思いました。チェックインの際もスムーズに船員の方が対応してくださり、信頼感がもてました。
25. シンガポールはとても綺麗な国だった。公共交通機関では飲食ができないこと、ガムを食べてはいけないことなど目で見て体験できてシンガポールを感じる事ができた。またスコールも初めて体験し、シンガポールの街の歩道の多くに屋根が付いているなど感じた。
26. シンガポールは個人的にとっても楽しめた。公共のトイレは汚いところは多かったが対策をちゃんと取っていれば大丈夫だった。

寄港地(ペナン島)での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想、観光地としての魅力など)

''

1. ターミナル自体はそこまで何もなかったが、使う分には差し支えなかった。毎度思うが、クルーズの入国審査は本当に何もしない印象だった。ペナンはとても異文化情緒溢れる街で面白かった。ストリートアートがたくさんあるところはとてもおしゃれて日本とはまた違う良さがあった。また、Grab がとても安かったので愛用していた。
2. 港を出たところに多くの野良タクシーが客引きをしており、印象がよくなかった。タクシーの業者を港とクルーズ船の間で整備できないものかと感じた。観光地であるジョージタウンのそばに港があるので、寄港には便利だと感じた。
3. シンガポールのターミナルとは同じ観光地とはいえかなり違っており、船を降りてすぐにタクシーの勧誘をする人が多くいたのが印象的であった。宗教施設なども観光資源と

なっているが、それと同時に地域の人も多くいて、地域に根付いた場所なのだと感じる
ことができた。

4. シンガポールよりは小規模とはいえ、クルーズということもあり入国は非常にスムーズ
で快適だった。観光地としてのペナンは、貿易の要衝地ということもあり、仏教、イスラ
ム教、ヒンドゥー教、キリスト教にも関するものが混在しており興味深い場所だと感じ
た。北のバトゥフェリングビーチも訪れてみたかったが時間の都合上厳しかったので再
度ペナンに観光しに行きたいと感じている。
5. 上記にも述べた通り、乗船時の対応は非常にスムーズで、飛行機の旅よりも快適だっ
た。ペナン島はシンガポールとは大きく雰囲気異なり、ローカルのお店や料理に触れ
るのが楽しかった。特に、キリスト教や仏教、ヒンドゥー教などの文化が融合した街並み
が非常に珍しく、異なる価値観に対して寛容な人々に興味を持った。
6. シンガポールとはまた違った街並みを楽しむことができた。ストリートのあちらこちらで
演奏が聞こえてきたり、壁画アートがあったり、歩いていてあきない町だった。現地のお
土産も基本手作りのものが多く、そこでしか買えない物という特別感を感じることがで
きた。
7. 町全体が世界遺産となっているということで、ウォールアートやワイヤーアート、寺院な
ど町全体が一つの文化として成り立っているように感じた。物販店やストリートパフォー
マーも多くいて、町の人柄も和やかで良い場所だと感じた。一般の観光地と比べて物
価もさほど高くなかったことも印象的である。
8. ターミナル施設を出た瞬間、大量のタクシードライバーが声をかけてきて日本との大き
な違いを感じた。街自体は古い建物はあったが、中心部には高層ホテルやオフィスが
立ち並んでおり、不思議な光景だった。お土産屋、飲食店ともどうしてもキャッシュオ
ンリーのところが多かったので、カード対応できるともう少し外国人観光客が利用しや
すいとは感じた。全体的にごはんがおいしく現地の人も優しい人だらけで楽しむことが
できた。
9. ペナン島にはリゾートっぽいイメージを抱いて観光したが、「発展途上国」感をひしひし
と感じるような町でとても面白かった。屋台でココナッツを買い、中身を飲み終わった
ので捨ててほしいと言いたかったが、勘違いされてココナッツの実を食べられるように
切ってくれた。今回はネットが繋がる人に頼っていたが、誰もネットが使えない状態だと
困るので、船内でモデルコースの紹介や地図の配布(ロイヤルカリビアンアプリ上で
も)があればよかったと思う。
10. ペナンでは入国審査がなかったのに驚いた。船から降りてすぐ、タクシーのキャッチで
ごった返していたので、やはりクルーズ船に乗るのはお金持ちばかりで稼ぎどころなの
だと感じた。おそらくメインストリートから外れて歩いたのでシンガポールとは全く違う

東南アジアの街並みを感じた。また仏教やイスラム教など様々な境界があり、宗教などが交わってできた文化を体感することができた。

11. シンガポールからマレーシアに入国したわけだが、特になんの手続きもなく観光を始めることができ、限られた時間を有効に活用できたのがとても良かった。ペナン島は世界遺産にもなっている観光地らしく、ペナン島のある観光客向けのお店からペナン島の歴史に関するお話も聞くことができ、観光しながらその土地のことについても勉強できたのが良かった。
12. ペナン島は、独特の雰囲気があり、東南アジア風に加え中央アジア風の雰囲気もあった。気候の暑さもあってか、夏休みに戻ったような気分で楽しかった。観光地としての魅力には、街並みがあると思う。日本にはない雰囲気、匂い、人柄があり、アジアの文化を融合したような街並みだった。料理もおいしく、屋台系のお店の賑わいがすごかった。
13. シンガポールと比べると、ややこじんまりとしたターミナルであったが、ショップ等もいくつかあり、違う場所に来たことを一早く感じさせてくれた。ペナン島（ジョージタウン）は想像よりも静かな町であり、モスクや寺院の観光地や、屋台、市場などをゆったりと楽しむことが出来た。
14. 単一文化の国なのかなと思っていたが、モスクや寺があり様々な文化が混じっている場所なのだなという印象を受けた。短い時間ではあったが、街を歩くだけでアートを始め新たな発見があり非常に楽しかった。また、東南アジアらしい屋台でご飯を買い、ゼミの同期と食べたことも良い思い出になった。
15. ペナン島のことは正直観光産業のみで成り立っている the 観光地だと思っていたが、想像以上に観光以外の産業が発展している様子に衝撃を受けた。高層ビルが建ち並ぶ様子はマレーシアの発展と活気を表しており、シンガポールと同様に洗練と混沌が入り交じっている印象を受けた。
16. 特に確認もなくカードスキャンのみで乗下船できて楽であった。観光地としては、歩いていけるところに見所が多くあり、クルーズの寄港地向きな島であると感じた。ラーメンが特に美味しかった。総合的な魅力としては、歴史やペイント、価格の安さとしてまとめられる。
17. ペナン島では、街全体が世界遺産となっていて、有名なストリートアートもたくさんあり、観光地ということも相まってお土産屋やカフェが固まっており、動きやすかった。乗船も下船もただクルーズカードをスキャンして顔認証するだけで簡単にできたので、スムーズな乗り降りに時間がかかることなく観光にすぐいくことができた。
18. ペナン島に着いた時は、スムーズに外に出ることが出来た。船が大きくて目印になるので、迷わず帰ってくる事が出来た。シーパスカードが必要な時は、それを事前に従業員が伝えてくれるので、手こずることは無かった。

- 19.ペナン島では船をおりた瞬間から、多くの観光業者がおり、日本よりも押しが強い所に驚きました。島を歩いているとアジアを感じるようなローカルな飲食店や立てものの壁にあるアートが目に入り、目新しく飽きることの無い途中下船になりました。特に、食べ物がどれも美味しく、観光地としての魅力だと感じました。
- 20.下船時も乗船時と同様にスムーズに対応していただき、その分ペナン島での観光を楽しむことができた。ターミナルにもいくつかお店があり、下船時と乗船時に必要なものを買うことができた。寄港地であったペナン島ではジョージタウンに行ったが、魅力がぎゅっとつまったまちであり、歩いているだけで楽しかった。
- 21.とても色がカラフルで見ていてきれいだった。いたるところにアート作品があったので写真をたくさんとった。特に何をすることもなく本当に見て回って写真を撮るだけであったが、日本とは違う雰囲気が新鮮で楽しめた。ペナン島ならではの土産も買えたので祈念に残るいい思い出になった。
- 22.ペナン島は、何時間か降りただけだが、とてもユニークな街であると感じた。特にアートが多く、壁に色々な絵が書いてあったり、色々な宗教の寺社仏閣があったりしてとても面白かった。ペナン島の乗船下船はとてもスムーズであり待つことも無く快適に過ごせたので、よかった。
- 23.ペナン島は、シンガポールと違い、港ではタクシーの勧誘が怖いほど行われていたが、過度な勧誘はされないと感じた。私は、一緒に回る友達と全然ペナン島での予定を決めずにいたが、現地についてからでも、観光できる場所が歩いて回れる程度の距離なので、存分に楽しめた。物価も安く、人も親切だったので、とても良かった。ペナン島は、なかなか自分たちで行くことの無いようなところなので、今回行って良かったと思う。
- 24.ペナン島は最初聞いたときどんなところか分からなくて時間も無かったのであまり調べず、船内で軽く観光地を知った程度だったのですが、とても楽しかったです。時間も短いかと思ってましたが全然そんなことはなくて、充実しました。現地でふらっとお寺に行ったり街中のアートで写真を撮ったりしました。
- 25.何ヶ所か見て回る事ができた。現地の100%のジュースが100%ではないという事を知ることができた。
- 26.ペナンは少し苦手だった。

スマートクルーズアカデミー全般について【クルーズを通じた学生間交流、会食、寄港地観光、フェアウェルパーティー（勝手にフォーマルナイト）など】についての感想と今後の要望

1. 今回は前回のベリッシマほど他大学とは交流できなかったが、阪大内で仲が深まったと思う。4年生とは卒業前ラストの大きなイベントだったので、一緒に参加できてよかつ

た。今回もやはりディナーは最高だった。あの特別な空間で食べるフルコースはいつになってもやめられない。あれが僕の中ではクルーズに行こうと思う一番の瞬間である。

2. 短い旅行であったため、あまり他大学の学生と関わる機会が少なかったのが残念だった。食事の時にでも、席をシャッフルするなどあってもよかったのかなと感じた。勝手にフォーマルナイトは、写真撮影などできてよかったが、やはりほかの客がフォーマルでないため浮いている感じで、あまり盛り上がりはなかったように思った。シンガポールでのコンテナ港の視察はとても貴重な体験で、学ぶところが多く、良かった。シンガポールの国力を感じた。
3. 今回はクルーズの期間もあまり長くはなかったため、違う大学から来られた学生の方と交流する機会があまりなかったのが残念だった。次の機会があれば、より交流を深めたいと感じた。
4. 学生間交流については今回のクルーズがそもそもの期間が短いのと大学間での交流イベント自体少なかったのが近い仲になるのは難しいと感じた。ただ、短時間ながらもバンパーカー大会やフォーマルナイトなど様々なイベントを用意してくださっていたので、暇になることは決して無くとても充実していたように感じた。
5. 他の大学の学生と交流する機会は滅多にないため、このような貴重な経験ができたことを幸運に思う。特に私は、客室でもペナン島でも京都産業大学の学生と行動をともにしていたため、他の大阪大学の学生に比べても、様々な人と濃い時間を共有することができたのではないかと思う。初めて知り合った者同士が協力し、非日常の旅を通して仲良くなるという経験はそう味わえないものであり、今後の財産になると思う。
6. 学生間の交流はナチュラルにできたと思うし、今後もクルーズだけでなく会食などあればぜひ参加したいと感じた。また、フォーマルナイトではスーツを来て船を散策することで、私服では入りづらいブランド店に入ることができ、貴族の気分になれて楽しかった。
7. 基本的には個々人が自由に行動することができ、クルーズ全体を通して満喫することができ、集団でショーやダンスナイトを体験したりフォーマルな服装での撮影を楽しんだりすることができたのも、また記憶に残る良い思い出となった。
8. 今回はほとんど他大学の人と関わることはできなかったが、その分ゼミ生と丸一日一緒に過ごして色々な話をすることができたので、それはそれで非常に思い出に残る機会だった。フォーマルナイトに関して、やはりみんなで綺麗な服を着ると、ザ・クルーズという気持ちになれたので、オフィシャルなフォーマルナイトではなかったものの、あのような機会があっただけで楽しかった。
9. 今回のクルーズでは、アクティビティを楽しむのが精いっぱい学生間の交流が全然できなかったのが残念だった。先生のご尽力で、クルーとディスカッションができたのは

とてもいい経験だった。無理を承知で要望するとすれば、マネージャークラスでなくてよいので学生5人:クルー1人くらいでディスカッションができれば、より理解が深まったと思う。

10. 普段できない経験を学生どうし一緒に体験することができ、仲が深まったように思う。また、ただ乗るだけでなく、クルーの方とお話させていただいたり、港を見学することができるなど、この機会でしか得られない経験ができるので非常にありがたい。これからも毎年続くと良いと思う。
11. 今回他大学の学生と少しは話すことができたが、もっと積極的に話しても良かったかと後悔もしている。フォーマルな服装になり、ゼミ生とたくさん写真を撮り思い出を残すことができたのは大変良かったので、今後のクルーズ旅行でも、特に船内がそういった雰囲気でもぜひフォーマルナイトをやっていただきたいと思う。
12. 広い船内で何をするか迷ったときに、クルーズの予定通りに行動すれば、船内のものを一通り楽しめるようになっていて、ありがたかった。フォーマルナイトは、皆で綺麗な格好をして写真を撮り、いい感じのお店で会食をするという、ちょっとお金持ちVIPになったような気分で、特別感があった。一緒に来ていた他大学の学生や船内の他のお客さんと交流する機会がもう少しあればよかったと思った。
13. クルーズ船内は多くのアクティビティ、ショー、レストランなどがあると同時に、船の上という限られた空間でもあるため、同じ団体として乗船した仲間とたくさん交流することが出来た。今回は「勝手に」フォーマルナイトという形であったが、クルーズの雰囲気にピッタリであったため、行って非常に良かったと思う。
14. 楽しむだけではなく、スタッフの方との意見交換を通して学びもあるということで、よく学びよく遊ぶをテーマにしているこのゼミの年度の最後の行事として最適なのではないかと思う。またフォーマルナイトに関しては、豪華客船の上でフォーマルな格好をして写真を撮るという普段はあまりしないことをすることで特別感も増し、よい思い出になった。
15. 今回のクルーズの大きな印象として、学生同士で交流が深まったことが大きな収穫だと思っている、特に4回生は全員参加が叶い、お互いがお互いのことをより深く知ってより良い関係になったと感じている。赤井先生も含めて4年生で飲んだ夜は忘れられない。
16. 赤井ゼミ内の人とは一緒に同じものを楽しむということができて、さらに交流が深まったと感じる。フォーマルナイトも、みんなで統一しておめかしできて、より船を楽しめる材料となった。今後は、中京のときのように、コース料理の席替えなどで他大の人とも交流できるようにすると良いのではないかと思う。
17. クルーズアカデミーの人たちとクルーズを乗船することによって、より参加者と仲を深め

ることができたと思う。会食という普段とは違う形で友人たちと食事をとることで新鮮な気持ちを味わい、共に違う国の文化の話やクルーズ船での生活から私生活まで様々な話をすることができたと思う。

18. 個人で旅行するより、他大学の学生や先生と交流するのは、いい機会だと感じた。観光地を案内してもらったり、イベントを作ってもらったりすることで、もっとクルーズを楽しめたと思う。イベント情報もたくさん教えていただき、効率よくクルーズを回ることが出来た。
19. フォーマルな格好をしたことがほとんどなかったので、今回この機会に好きなドレスを着ることができて大変満足しています。友人とフォーマルな格好をしてコースディナーを食べる経験があまり無かったので、楽しい体験になりました。学生間交流をもう少ししておけば良かったと感じています。
20. クルーズを通して他の大学の方や他の学年の方々ともお話をすることができ、楽しかった。また非日常的な素敵な思い出を共有することができ、嬉しく思う。フォーマルナイトではいつもと違う服装での食事で、緊張感もあったが、マナーを学びながらの楽しい食事の時間となった。
21. ご飯を一緒に食べて学生間交流できたのでよかった。いろいろなお話を聞いたので面白かった。学生同士で分からないことを聞いたり連絡を取り合ったりできたので特段困ったことはなかった。学生間交流はもう少しあってもいいなと感じた。事前説明で不安はあまりなかった。
22. 今回大阪大学の方と同室だった。当日まで不安もあったが、とても仲良くなりペナン島と一緒に回ったり楽しい時間を過ごすことが出来た。また、札幌大学の方とは連絡先を交換し、3月末に北海道旅行に行った際お会いする予定だ。このように今回のクルーズを通じていいご縁と出会いがあったことが本当に1番の収穫だ。これからも色々な方と交流する機会があればいいなと思う。
23. クルーズを通じて、少し他の大学の方と交流することができたり、フォーマルナイトの経験ができたりととても良かったと思う。他の大学生の学生が英語をぺらぺら話しているのを見て、とても刺激を受け、英語の勉強について熱意が上がった。今後についても、今までどうりの方針で行ってよいと思う。
24. 普段は京産で学生と関わるのが大半なので、今回のクルーズで他の大学の方と関わるのが新鮮でした。同じ大学でも4年生の先輩とは、私はお話したことが無かったので今回のクルーズで喋ることができたので嬉しかったです。札幌大学の学生の方とレストランで席が同じだったのでお話もできて充実しました。
25. 3日間というとても短い時間の中で他の大学の皆さんと交流できる時間はあまりなかったが少し話すことができて楽しかった。日本で交流するのとはまた違う感覚だと感じ

た。

26.あまり学生同士の交流はなかったなと感じた。個人個人で楽しむ分には楽しかった。

地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割についての感想(日本・東南アジアの場合)"

1. 国土交通省のクルーズ室の方がおっしゃっていた通り、クルーズは平和産業であるというのは共感できた。いつもは行かないような港町に何千人と降りて、一同観光やショッピングをしてお金を落としてくのは地域活性化にとっても有用な事業である。その上で港湾はシンガポールのように使いやすい設備を作ることや痒い所に手が届く港になれば利用者にとって満足度の高いものになると思う。
2. 一回のクルーズ船で数千人規模の観光客が移動し、寄港地で観光することの経済的な意味が感じられた。ペナンの港の前で多くのタクシーが呼び込みをしていたことから、地元にとっての商機であることが感じられた。一方で、ペナンでの移動手段や観光地について一体感は感じられず、観光がしやすかったとは言えなかった。一体となって観光業を作ることが、集客や誘致にとって大事だと感じた。
3. ペナン島で目にしたタクシーの需要のようにクルーズ客船を誘致することによる経済効果は大きいのではないかと肌で感じた。特に航路があまり整っていなかったり、陸路では訪れにくい観光地などはクルーズ客船を誘致することで地域活性化を図れるのではないかと感じた。
4. クルーズは瞬間的にその町の滞在者を何千人と増やすことができる点で活性化には大きな貢献ができる。しかし、その巨大船舶を停泊でき、かつ何千人が観光したいと思えるような観光資源があり、それに対応しているインフラも整えるというのは非常にハードルが高い。その受け皿のある地域はそう多くないのでまんべんなく地域活性化できるというのはまだハードルが高いのではと感じた。
5. クルーズは、普段自分では選ばないような観光地に訪れるきっかけを与えてくれると感じた。例えば、私にとって「ペナン島」は、このクルーズに参加しなければ、プライベートでは訪れることのなかった場所だと思う。そのような場所であっても、今回のようにシンガポール発着のクルーズの寄港地として組み込まれることで、訪れるきっかけが生まれる。このように、観光地としてはまだスポットライトを浴びていないが、これから地域を活性化させていきたいと考える地域にとって、クルーズ客船の誘致は有用な効果があるのではないかと感じた。
6. アジアの裕福層の中でクルーズへの関心が非常に高いことが分かったので、寄港地に日本の伝統産業体験などを入れると、大きなインバウンド効果があると感じた。現地の

政策や価格変動とも結びついてきたことを後になって知り、とても大きな影響力があることを改めて感じた。

7. 神戸港など観光地として確立されている事例も増加しているが、港湾地帯は一般的には工場や工業地帯となっていることが多く、内陸の商業地帯やアミューズメントと比べて顧客を引き付けづらい印象である。だからこそ海上での体験によって価値を提供するクルーズは新鮮さと特別感を秘めており、客船を受け入れる港の整備さえ整っていれば地域活性化の手段として十分に可能性があると感じた。
8. 5000 人もの方が一度に寄港して現地を観光するという意味で、クルーズ客船誘致は地域活性化に貢献していると思う。実際に今回、シンガポールとマレーシアはかなり観光してお金を使った。ただ、乗客はシンガポール人やマレーシア人が多く、そういった人たちにとっては寄港地で観光をすることはあまり重要ではないように思えた。地域活性化のためにはこういった国籍、客層をターゲットにするかが重要だと思う。
9. 私たちが下船した3時間後には新たな客が乗船するというを知り、クルーズがそれほど人気であることに驚いた。シンガポールはとても小さな国ではあるが、海路陸路ともに世界のハブとなっている理由やその戦略にとっても興味があった。また、これから大きく発展するであろう東～東南アジアにおいて、シンガポール、上海に次ぐハブを作る必要性は高いと感じた。
- 10.クルーズの中で経済活動が盛んなのは当然だが、お金持ちが多く乗っているのだから寄港地への波及効果も大きくあることだろう。ペナンで無数のタクシーが待ち受けていたのもうなずける。クルーズが誘致できればかなり地域活性化に貢献すると考えられる。一方でクルーズが寄港するほどの都市はすでに観光で成り立っている用にも思う。
- 11.ペナン島は海外の観光客の方が非常に多い印象を受けた。港に近いからこそクルーズの客による外貨取得も期待でき、世界遺産も存続させることができるという好循環が生み出せているのではないかと思った。日本も海に囲まれた島国だからこそ、クルーズを通じてもっとたくさんの外国人観光客に来てもらう国になっていいのではと思った。
- 12.クルーズ客船を誘致することで、お金を持った人たちがその地にお金を落としてくれる点で地域の活性化につながると感じる。また、今回のような巨大な船が港にいると話題にもなり、その地が注目されるきっかけにもなる。クルーズのお客さんは非日常を求めていると思うので、世界中知名度の低い港にもクルーズ船が行くことで、お客さんも新しい経験ができていいと思う。
- 13.クルーズ客船がとある港に寄港することによって、数千人がその地に観光に訪れるため、一定の経済効果は見込めるように思われる。その中で東南アジア(今回のペナン)では、イミグレが無く、スムーズに上陸することが出来た点は、非常に快適であった。日本において全く同じように対応することは難しいかもしれないが、検討する効果はある

ように思われる。

14. あれほどの規模の客船を呼ぶことができれば、かなり多くの人たちを一度に寄港地へと運ぶことができると思ったし、またあれほどの規模の客船に乗ることのできる人は多くの金銭的な余裕を持っていると考えることもできるので、客船誘致は大きな影響があると思う。港湾の役割に関しては、都市部へのアクセスと共に考えることで利便性を上げることも重要なのではないかと感じた。
15. シンガポールの港は日本以上にクルーズ船をはじめとした大型船を受け入れることを前提とした港湾作りが行なわれていると感じた。ONE の方も仰っていたが、大型船を受け入れるために港湾を深く掘ることが客船誘致のためには欠かせないと感じた。
16. 地域活性化のためには、クルーズ会社へのアピールや港湾の整備は当然重要であるとして、地域側のクルーズに特化した努力が不足しているのではないかと感じた。日本のタクシーは高価すぎ、また簡単な英語を覚えようとすらしめないドライバーばかりである。またさらに、寄港地の下船ポイントから各観光地へのモデルルートの情報も得づらい。遠くへ行きたい人、食事を楽しみたい人などに合わせた、実際の道中も写した youtube 動画作成など、より満足度を上げ、継続的に選択してもらうための改善が必要である。
17. クルーズ客船の来訪により、地域経済が活性化し、観光業界が成長すると考えられる。また、クルーズ客船の誘致には、港湾施設の整備や拡充が必要で、これにより港湾の能力が向上し、多くの船舶を受け入れられるようになると考えられる。クルーズ客船の訪問により、地域の魅力が世界に知れ渡り、観光客の増加が期待される。特にアジア圏では、小さな島が多く散らばっていることから、船でしか移動できない観光島であっても、クルーズ船なら容易に人を運ぶことができるためそのような島をより観光地化することで経済的に都市を活性化する役割もあると考えられる。
18. 観光客に向けた勧誘が、日本より多く感じた。観光地までのタクシー送迎や、屋台の客引きも、日本より開放的なように感じた。街並みや道路、車やバイクもマレーシアと日本の違いを感じた。
19. 地域活性化のためにはやはりインスタグラムやティックトックなどの SNS を活用してクルーズ客船誘致をするべきであると感じました。家族でも友人とでも楽しめる最高のクルーズ旅を知ってもらうためには SNS を使って拡散するのが効率よく、最近では若者だけでなく私たちの親世代もスマートフォンを持つことが増えているので、誘致するには一番良いと感じました。
20. 今回のクルージングを通して、乗船港を整えることや寄港地の観光を盛り上げることが、地域活性化のためのクルーズ客船誘致に大きな影響を与えると実感した。私自身クルーズの参加を決める際に、乗船港がシンガポールであり、いつか観光に訪れたいと考

えていた地であったことが決め手となったため、乗船港を魅力あふれる地にする必要があると感じた。

- 21.クルーズ客船で移動時間も楽しむことができ、さらに到着先でも観光することができるので、無駄がないと感じた。港湾ではいろいろな物が行き交いする場所であり、それぞれ交流の場としての役割があると感じた。クルーズ船に乗ること自体が貴重で思い出に残る経験なので港自体が観光地だと思った。
- 22.クルーズを誘致することで地域活性化に繋がると思う。しかし、クルーズ客をしっかりとてなす環境が整っていないと逆効果であるとも思う。せっかく降りたのに何もすることがなかったり、治安があまりに悪く嫌な思いをしたらかえってマイナスなイメージが広がってしまうので、クルーズ誘致は慎重にすべきであると思う。
- 23.クルーズ船を通じて、港湾収入を得られ、多数の乗船客による観光消費や、関連産業への経済効果が期待できると思う。寄港地としての特色のある魅力づくりを行い、クルーズ船を通じて地域を活性化を行っていくべきだと思う。また、日本はあまり、クルーズ船での旅をなかなかせず、クルーズ＝高齢者のイメージもあるかと思うので、クルーズの魅力をもっと伝えるべきでもあると思う。
- 24.クルーズが地域活性化の役割を担っていると感じました。実際ペナン島もクルーズ船で行くことではじめて知れたし観光する事で街の良さにも気づけました。このことから地域活性化したい街をクルーズで巡るのもいいなと思いました。ただ港がある街に限られるのが難しいところだと感じます。
- 25.観光客を呼ぶための短めのツアーがあると良いのかなと感じた。滞在時間が短い場合、自分たちで調べて目的地に向かうのにも限界があると思った。
- 26.回答なし

クルーズを通じた国際交流・異文化理解についての感想

1. クルーズは船内自体が異文化交流であると思う。クルーは全員外国人、乗っている人も今回はほとんどが外国人であった。そこが面白い。僕たちのハウスキーピングの人はインドネシア人の人だったが、because 以外何言ってるかわからなかった。しかし、クルーズではそれでさえ楽しむことができる。しかもなんとかなることが多い。だから、国内においては体験できないことを気軽に体験できる便利な施設だと思う。
2. クルーズ船では異なる国籍のスタッフやほかのお客さんに話すことで、国際交流はあると思う。だがその積極性がなくとも、料理を味わい、ショーを楽しむだけでも、十分に「異文化」は感じられた。だが、今回のメインの客層である東南アジアの人たちにとって

は、近所の国の人ばかりだろうから、同質的で、国際交流は感じられないのかもしれないと感じた。

3. クルーズ船では年齢、国籍を問わず多くの人に乗船しており、また乗組員の方もさまざまな国籍やバックグラウンドを持っていた。クルーズ船で過ごす間にさまざまな人と関わることや、寄港地での経験を通じての国際交流は可能だと感じた。
4. 日本発着でも日本人クルーの方はほとんどおらず、今回シンガポール発着だったこともあり関わったクルーさんは全員外国人クルーの方たちで非常に良い経験となった。共通語として英語は話せるが、アクセントの問題もあり如何に非言語コミュニケーションの部分で上手く伝えるかという点で今回成長できたと思う。
5. 最も印象に残ったのは、英語の違いについてだ。今回のクルーズには、中華系やマレー系、インド系など、様々な人種のクルーや乗客が乗船しており、英語を話す人だとしても、強いなまりや独自のアクセントを持っている場合がほとんどだった。そのため、国際交流のためには、相手の言いたいことを汲み取ろうとする辛抱強さと、身振り手振りを交えて、言いたいこと伝えようとする熱意が重要だと感じた。綺麗な英語を話せるというだけでは、真の国際人とは言えない。どんなバックグラウンドを持った人とも、通じ合えるようなスキルを身に着けたいと改めて思った。
6. クルーズだけでなく海外に来て感じたことは、みな主張が強いということである。いかに、普段日本にいて主張をしていないか、を痛感した。日本ならよける間合いに入っても、よけてくれないということはざらであり、国民性を表しているなど感じた。強く主張できるよう、語学力も必要だと感じた。
7. 我々が日本にいと必然的に自分と同じ人種と言語の人と関わることになるが、今回のクルーズでは人種、言語を問わずまさにサラダボウルのような環境で時間を過ごすことができた。外尾お客さんと関わる機会はほとんどなかったが、ビュッフェでほかの地域の食べ物を食べてみたり、友人が英語を使って他のお客さんと話しているのを聞いたりして自分たち以外の文化を感じることもできた。
8. 今回クルーズと前後の観光で1週間ほどシンガポール・マレーシアで滞在してみて、初めて東南アジアをじっくり知る機会となった。ビジネス街に行くともまた違った雰囲気なのかもしれないが、私が訪れた範囲での現地の人々は、楽しくのんびりと時間を過ごしており、また観光客に対して優しい方が多かった。一方で、ファミリーや団体に乗船している人が多く、クルーズ内で他の国の乗客と関わる機会はあまりなかった。(船員の方とは沢山話したが)
9. 今回の旅では、クルーズの客室清掃の方とシンガポールのタクシー運転手と話す機会があったが、2人とも日本のタクシーは高い、呼びにくい等の不満を漏らしていたのがとても印象的だった。シンガポールでもペナンでも、とても気軽にタクシーが利用できた

ので、タクシー環境の整備は日本を観光大国として成長させるために必要なことの1つであると学んだ。

- 10.クルーズ船は限られた場所にしかないからこそ、様々な人が集まってくるのだと感じた。乗客もアジア系が多いもののその中でも様々であったし、クルーも様々であった。その中ですべて英語でコミュニケーションを取っており、クルーズ船の中でしか味わえない文化交流があるように感じた。
- 11.ダンスやアクティビティを通じて、たとえお互いしっかりと言語が分かっていなくても、仲良くなることができるという体験が自分にとっては本当に刺激的だった。レストランで提供されているメニューを通じて海外の食文化に直に触れられたのも良かったと思う。
- 12.船内や海外での会話はほぼ英語だった。日本にいと英語を話さなくても生きていけるが、今回は話さないといけないため、英語学習においてそういう環境に飛び込むことの大切さを知った。また、外国人とこんなに話すことも初めてで、世界はまだまだ広いということを実感した。アクティビティを通じて外国人と交流したことで、世界の見え方が少し変わった。
- 13.クルーズ船内では基本的に英語を利用し、クルーの方は全員が英語を流暢に話すため、道を尋ねる、軽い雑談をしてみるといった英語の勉強には最適であると感じた。また、レストランの食事で豚肉が出ない、ビュッフェでハラールメニューが豊富にあるなど、日本では出来ないような経験もたくさんすることが出来る。
- 14.クルーズ船でたまたまあった人と会話をして、ロシアの情勢を聞いたり、ロシアから逃げてタイに住んでるなどの話を聞くことができ、日本でニュースを聞くだけではわからないリアルを知ることができた。また、比較的初対面でも人に話しかけるヨーロッパの人たちと人と適度な距離を保ちアジア系の人たちの雰囲気の違いを少しだけ感じた。
- 15.クルーズの最も大きな要素の一つとして国際交流や異文化理解があると感じている。これらの要素によってクルーズはもっと楽しくなっていると感じる。Where are you from?という質問から世界が広がっていく感覚はクルーズ独特の楽しみだと感じた。
- 16.MSCの方が交流を図りやすかった。地域性なのか、隣国同士はなんとやらののか、アジア系の人との方がノリを合わせづらい。インドの方とは踊りもしたので、国同士の物理的距離は離れる方が親しみやすいのかもしれない。中国の方は大家族の内輪で盛り上がるというふうにも感じた。ただ、同じ船に乗っている同士として陸上よりも話しやすいという風土は存在している。さらに、食事の面では異文化を強く感じることもできた。
- 17.クルーズを通しての異文化交流に関しては、同じクルーズ船でも地域によって異なる国の人が多く、違うバックグラウンドをもつ人たちと少しでも話すことは私自身、日本人では当たり前だと思っていることがそうでなかったりといろいろな刺激を感じられたと思う。

- 18.船員のインタビュー以外は、あまり関わる機会はなかったが、レストランの店員や、カフェの店員などは、陽気に話しかけてくださり、貴重な機会だと感じた。もっと国際交流ができる機会があれば、海外の文化の違いや、日本との比較が出来ると思う。
- 19.英語が全く話せないこともあって、国際交流することが億劫でなかなか出来なかったのですが、向こうからコミュニケーションを取ってきてくれることが多く助かりました。普段日本では国際交流や異文化理解を深める機会がないので、クルーズを通じて海外の方々と交流出来たのはとてもありがたかったです。
- 20.クルーズ船には、さまざまな国からの乗船客がおり、クルーも多国籍であった。船の中を歩いていると、他の国の方々とすれ違ったり、エレベーターの中で一緒になったりすることがあったが、うまくコミュニケーションを取ることはできなかった。そのため交流するために言語を学ぶ必要性を強く感じた。また、食事の際に異文化に触れることができた。
- 21.国際交流は言葉が違ってても意外と通じるものだと感じた。片言でも話してみても良かったと感じた。トイレや料理において異文化を感じる部分はあってもそれを楽しむことができたのでよかった。逆に違う中で日本と一緒にだと感じる部分もたくさんあり、見つけるのが楽しかった。
- 22.ホテルでなくクルーズで異文化交流や国際交流をしたことにより、海外の方の朝から夜までの行動が見えた。色々な面で自分たちとの考え方や価値観と違う部分が垣間見えたが、それらを否定するのではなく知っておくことでトラブルを未然に防ぐことが出来るのではないかと思う。
- 23.私は、実際クルーズを通して、マレーシアの方と仲良く卓球をしたり、シンガポールの方と話したりと国際交流ができた。外国の方と話すのは、とても刺激的であると思う。また、レストランでは、日本と違う料理を食べることで、外国の料理を味わうことができ、異文化理解も深めることができると感じた。
- 24.クルーズを通して異文化交流出来たのが私にとってすごく印象に残っています。卓球をしたくて順番待ちをしていたときにマレーシアのご家族と一緒にやろうと誘ってくださって楽しい時間を過ごせました。最後にはみんなで写真を撮りました。このときにもっと英語が話せていればコミュニケーションをとることができたと後悔したので英語の勉強を頑張ろうと思います。
- 25.前回のクルーズでもそうだったが、一つの船の中にいろんな国のお客さんやスタッフがいて、興味深かった。
- 26.クルーズ船に乗っているだけでは特に交流はなかったが、クルーとの質問会では、交流出来ていたなと感じられた。

クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしにおける若い世代からの視点)を書いてください。

1. クルーズは金持ちの乗り物という固定観念はあるかもしれない。確かに日常生活からすると、安いわけではない。しかし、クルーズで得られるものはたくさんあり、ただの海外旅行では得られない経験があると感じてる。だから、この経験をして終わるか、経験せずに終わるかという天秤にかけて考えることが良いと思う。そこで乗ってくれるようにプロモーションをしないとイケない。
2. 高級感ある非日常を手軽に味わえるという点で、クルーズは若い人にも魅力的だと思う。だが、知らない人にとっては、旅行の選択肢としてはクルーズはなかなか入りにくいと思う。「老後の楽しみ」「金持ちの道楽」という先入観もあるので、その手軽さ、カジュアルさを売りにしつつ、かつ高級感を損なわせない売り込み方が大事だと思う。
3. クルーズの社会的意義としては、やはり経済効果とそれに伴う地域活性化が挙げられる。今以上にクルーズに対するニーズの掘り起こしを行うのであれば、消費者の旅行の選択肢にクルーズが入るようにクオリティは落とさず、短期間のクルーズを企画するなどクルーズへの敷居を低くすることが重要であると思う。
4. クルーズをワーケーションとして利用するというニーズの掘り起こし方もありなのではと考え、船内WIFIがもう少しお手頃になればいいのかとも考えた。しかし、スマホから離れづらい普段の生活とは違ってデジタルデトックスし非日常を味わう、という観点だとWIFIへのハードルは高めに設定しておく方がよりクルーズとしての意義が高まるのではとも考え、難しい点だと感じた。
5. 上記にも述べた通り、クルーズは、人々が普段選ぶことのない観光地に訪れる機会を与えてくれるという点で、地域活性化の役割を担っている。しかし、いまだに高級なイメージがあるため、多くの人にとっては乗船にハードルが存在するだけでなく、旅の手段として思い浮かぶことすら少ないのではないだろうか。そのため、個人に対してクルーズを売り込むのではなく、ゼミや研究室の研修や卒業旅行など、団体客に向けたアプローチを強化することから始めるのが有効なのではないかと感じた。
6. 陸の旅と比べて、どんな料金設定なのか、どんな楽しみ方ができるのかを周知することが大事だと感じた。乗る機会が目の前にくるまで、中々自分たちで乗ろうとならないからだ。また、寄港地などついでに行ける場所の充実、陸の旅との連携によって、より楽しみ方は増えると感じた。
7. クルーズは移動手段とアミューズメントという要素を兼ね備えた稀有な存在ではあるが、現代飛行機や自動車といったより速い移動手段、そして内陸の商業やアミューズメントの存在が若者のクルーズへ関心を向けないのではないかと感じた。また、魅力がある

クルーズは高額であるという要素も加わり、若者にとってアミューズメントや非日常体験の場としてクルーズは手が届きにくいのではないかと感じた。

8. 友人にクルーズに乗るといった話をした反応を見る限り、やはりまだ若い世代にとってはクルーズは豪華客船、高い、高齢層が乗るものをいうイメージが強い。若い世代にとっては費用が一番のネックになると思うが、費用の中にコース料理やアクティビティや移動コストも入っていることを考えるとちょっと高いホテルに宿泊するのとはほぼ変わらない、ということはほとんど知られていないように感じるので、年代ごとの広報戦略を考えることは非常に重要だと思う。
9. クルーズが移動の選択肢にさえ入りづらい理由は、そのハードルの高さだと思う。人々のクルーズに対するイメージは、「豪華」「高額」であって、自分たちの手の届くものだという認識がないのだと思う。今回のクルーズに参加して初めてクルーズの代金を知り、今後は旅の選択肢の一つに入ると思うようになった。クルーズ振興はまず知名度向上から始めるべきだと感じた。
10. お金持ちしか乗れないイメージが強かったが、一人10万円ほどで宿、食事、観光ができると考えるとむしろお手頃な海外旅行だともいえる。実際に体験できればハードルはかなり下がるように思うので、アピールが重要である。私は今回が最初で最後かと思ったが、もう一度乗りたいと思うようになった。経済効果も大きく振興は重要であると思う。
11. クルーズがあることで、港が活性化し、港周辺の街の経済が潤い、また客は、観光地までの移動時間を非常に快適に楽しむことができるという、客と港とのウィンウィンの関係が作られていると思った。クルーズを完全なバケーション施設という扱いだけではなく、国際的な会議を開く場として活用したり、ビジネスの場として活用したり（これはクルーズの趣旨とは少しずれてきてしまうかもしれないが）といったことも考えられるのではないかと思った。
12. クルーズの魅力は非日常とゆったり感にあると思う。船は移動手段としては遅いが、その移動していることすら忘れて楽しんでしまい、旅においてただ移動している時間をなくしてくれる唯一の移動手段だと思う。船にいる間は日常のやるべきことなどなにも考えなくてよい。ゆったりと余裕を持って過ごせるため、乗客は余裕に満ち溢れている。そのため、普段行かないようなマイナーな国・地域へ人を呼び込むことがしやすいと思う。わざわざ自分で行こうと思わないような世界の場所へ、勝手に連れて行ってくれる感じはクルーズの良さである。
13. クルーズはたくさんある旅行の方法の一つという位置づけにあるが、その中でも「高級」「時間がかかる」といったイメージから選ばれにくかったり、そもそも選択肢にすら入って来ない場合もある。そのため、クルーズ進行をしていくためには、SCAのようなイベント行ない、クルーズを経験した層を増やし、その層が周囲に魅力を語り、広げていく

という地道な方法が最終的には非常に有効であるように考えている。

14. 忙しい日常の中に非日常を提供するのがクルーズだと自分自身は考えている。実際にクルーズに乗って普段は考えないようなことや普段ではできないこともでき、夢の中にいるようだった。ニーズの掘り起こし方に関しては、移動手段としてのクルーズではなく非日常を提供するクルーズとしての打ち出し方でマーケティングをすればよいのではないかと思う。
15. 若い世代だとクルーズという選択肢を取ることが少し難しいというのが若者世代としての意見である。その要因としてはクルーズに参加する初期費用がどうしても高くなってしまふことがあると考える。なかなか難しいことだとは思いますが、初期費用のより安いプランがあると嬉しく思うと感じた。
16. 飛行機よりも健全とされるエネルギーで、比較的小金のある人から、地方へお金を落とせるという意義がある。また、宇宙船地球号を身をもって体験するものとしても活用できそうである。そしてさらに、グローバル人材を育てる手段としての利用もできる。若い世代向けには、クルーズ側がポジショニングを変える必要がある。高いと思わせてしまう状態でも、それだけの価値を感じさせる分野に設計する。一人旅に向かない現状でも、むしろ一人で多様な人から学ぼうと思わせられる。そもそも観光系をライバルと捉えずに、留学やトレーニング業界をライバルと捉える。このような方向から考える必要がある。
17. クルーズ船は社会的意義は一昔前の裕福層だけが乗る特別なものから、庶民も気楽に乗船でき、ほかの土地へと行けるお手頃なものに変わり、今では大切なインバウンドを与えてくれる観光業の大きな柱であると考えられる。また若者へのニーズに関しては、いまだにクルーズ船は手の届かないものであると考えている人が多いため、どれほどの値段で乗れるのかという明白な情報を提供し続ける事が大事だと考えられる。
18. クルーズでは、普通にホテルに泊まって観光するのとはまた違って、クルーズでしか出来ない体験が出来ると思う。そして、船の中で全て完結するので、旅行での不安ごとが格段に減ると感じた。有意義な時間を過ごせるクルーズは、他の人も人生に 1 回は体験して欲しい。
19. クルーズの社会的意義とは生きがいだと感じました。実際に自分がクルーズを体験して、生きがいであると言えるほど次の乗船が楽しみになったからです。このクルーズのために働く人、働きがいにしている人は多くいるのではないかと思います。そう思われるほどに素晴らしいクルーズでした。クルーズ振興の在り方とはこういうものではないかと思っています。
20. 今回のクルーズに参加させていただき、クルーズは乗船港や寄港地の観光の盛り上げに繋がることや、国際交流・異文化理解の良い機会になることが多くのメリットを持つ

ものであると分かった。これらの社会的意義を高めるために、若い年代の乗船客を増やし、SNS 等を用いて広めていくことが重要であると感じた。そのため、乗船港や寄港地の魅力に加えてクルーズそのものの魅力を様々な媒体で PR していくことが必要であると考えている。

21. 学生にとってむしろ人生において経験することがない貴重な経験であるのもっといろんな人が体験できればいいなと感じた。先生から紹介されるまではクルーズ船をあまり知らなかったのもっと知ってもらう機会があればいいなと感じた。ペナン島においてももしシンガポールにクルーズなしで行くとなると行かないで終わってしまいそうなので寄れて本当によかった。
22. クルーズはリタイア世代の老後の楽しみだと思っていたが、若い人が安全に豪華な暮らしを楽しむことの出来る場所であるとわかった。今回のようなショートクルーズは特に若い人向けだと思うので、そのような視点からもっと広報していけば若い人も興味を持つのではないかと思った。
23. クルーズは、多くの乗客が寄港地を訪れ、その国の観光振興、地域振興に繋がり、大きな経済効果を生み出せることに意義があると思う。今後のクルーズ振興のあり方としては、クルーズに対しての魅力を情報発信したり、クルーズ船の受入施設や体制を整備し、多くの方がクルーズ船を利用できるように工夫が必要であると考えている。
24. クルーズの社会的意義は異文化交流をすることで自分に必要なことが分かることや地域活性化だと思いました。実際今回のクルーズで異文化交流をしてもっと英語を学びたいと思えたとし、勉強するきっかけにもなったので、世界に興味を持つ人材もクルーズを通して増えるのではないかなと感じます。
25. 回答なし
26. 団体割りがあれば学生も参加しやすい。困った時に頼れる方がいると安心して参加出来た。

クルーズ全般への感想(失敗談なども)、将来に向けての感想、上記の項目に該当しなかった部分

への感想

1. 失敗という失敗はなかったが、これも毎度思うことだが、クルーズに乗っているときは圧倒的に時間と体力が足りない。もっとあればなといつも思う。次はいつになるかわからないが、今回よりさらに楽しもうという心意気で次回も乗船したい。次は 4 年生が卒業して新 2 年生が入ってくるので、フレッシュなメンバーで参加できることを楽しみにしている。

2. 乗る船と船会社、寄港する観光地、一緒に行くメンバーによって、違う楽しみ方がクルーズにはあるのだと感じた。今回は、設備や装飾などのハードな面には目新しさがなかったものの、サービスや接客などのソフトな面で、満足感を感じることができた。
3. やはり日本人の友人と一緒にいると、他の知らない人と交流する機会がかなり少なかったと感じる。次の機会があれば是非他のクルーズ客の人などにも積極的に話しかけて交流を図りたい。また、今回は短い期間のクルーズだったので船内で回れていないところもあった。将来乗る機会があれば長期間のクルーズにも乗ってみたい。
4. 一般の学生としては経験できないようなこともたくさん経験させて頂いて本当に感謝している。学生の間は資金的に厳しいとは思いますが、社会人になっていつか同期や先輩、これから入ってくる後輩たちと地中海クルーズやカリブ海クルーズなど少し豪華な旅をできれば幸せだなと考えている。
5. 4日間、寝る間も惜しんでアクティビティやショーを全力で楽しむことができた。また、クルーや乗客とも積極的にコミュニケーションをとり、異文化交流も満喫した。何事においても、自分から積極的に行動することで学びを得られると実感した。これまで、旅の楽しみは目的地に着いてから始まるものだと思っていたが、「移動しながら楽しむ」という新たな魅力を知ることができたため、社会人になってからもぜひクルーズに乗りたいと感じた。
6. 初めてのクルーズでここまでいい船に乗ってしまい、今後のクルーズでがっかりしてしまわないか心配になるほど、素晴らしい時間だった。今回提供していただいたオーシャンビューの部屋も最高だったが、大人になってから、一度でいいのでベランダ付きの部屋に泊まり、1日中ベランダでのんびりしてみたいものである。
7. 非日常かつ新鮮な刺激にあふれた非常に充実した時間であった。食事、アクティビティ、団欒どれをとっても一生の思い出となるであろう。このような素晴らしい機会を設けてくださった赤井先生、倉本先生、クルーズ船関係者の皆様には心からの感謝を申し上げたい。
8. 前回と今回乗船してみて、クルーズはやはり日数が長い方がゆっくりと船内のアクティビティを満喫できて良いと感じた。1週間くらいが満喫しつつ名残惜しくなるちょうど良い日数だと感じた。クルーズで遊んでいる間に次の目的に到着するというのが個人的に好きなポイントなので、将来また違う地域のクルーズにぜひ乗船したい。また、船会社、乗る年齢や乗る相手によって違う楽しみ方があると思うので、またどこかのタイミングでクルーズには乗船すると思う。
9. 今回は、フォーマルナイトとの兼ね合いで Bollywood dance class に参加できなかったのが残念でしかたない。クルーズへの乗船は今回が初めてだったが、船内でも様々なことが楽しめ、デッキに出れば海を楽しめるということで、次回はアラスカなどデ

ツキが常に異世界であるようなクルーズにチャレンジしたいと思う。

- 10.クルーや乗客ともっと積極的にコミュニケーションを取ることで満足度はもう一段階上がるように感じた。英語が苦手なのでそこを怠ってしまったように思う。最終日のダンスパーティーのように郷に入っては郷に従うような気持ちでできればよかった。将来お金をためてアラスカのクルーズに行きたいと思う。また両親へのプレゼントにもぴったりだと思った。ありがとうございました。
- 11.船内では普段よりかなり積極的に海外の方とコミュニケーションを取るように努めたが、まだまだ積極性が足りなかったような気がしている。とはいえ、完璧に英語を話せるわけではない自分が、海外の方に対して積極的にコミュニケーションをとろうとチャレンジできたことが自分にとっては大きな自信になったような気がしている。
- 12.全体として、本当に自分の好き放題に行動できるわがまま空間だった。食べたい時にご飯を食べて、遊びたい時に遊んで、寝たい時に寝る。このような体験は今後なかなかできないと思う。自分自身初の海外を知り、世界には多様な場所がまだまだ存在することがわかった。海外に行くハードルが少し下がったので、これからいろんな国に行ってみたい。
- 13.今回の乗船では、ロッククライミングで皮膚を剥いたり、プールで日焼けをしすぎて痒みが止まらなくなるなど多くの失敗をした。しかし、どれも初めての経験であり、クルーズの醍醐味でもあるため、最後まで楽しむことが出来た。クルーズは本当に楽しい。そう思うことが出来て、本当に良かったし、様々な段取りをしてくださった方々に本当に感謝している。これからの人生、少なくともカリブ海、地中海、北極海の3回くらいはクルーズ旅行に出かけてみたい。
- 14.いろんな国籍の方がスタッフにいらっしゃってうまくコミュニケーションが取れなかったりする場面もあったので、少しずつではあるがより英語を勉強して成長していきたいと思った。また、クルーズに関しては社会人になって休みが取れたら自分の大切な人たちとプライベートでも行きたいと思う。
- 15.今回のクルーズを通して、将来自分が結婚した後にお嫁さんと一緒にクルーズ旅行が出来たらとても楽しそうだと感じたと共に、自分の他の友達にも積極的に Recommend していきたいと感じた。より多くの人と何度も乗れると良いなと思うとても良い旅だった。
- 16.夜と朝のトレードオフがむずい イベントのトレードオフもむずい 将来は家族か奥さんと乗りたい 先生の言っていた同窓会の集合場所としても使用したい 朝のイベントを楽しむか、夜のおしゃべりやダンスを楽しむか、このトレードオフには毎夜悩まされた。結局寝不足のまま朝のコースをかき込み、少し昼寝をするというスタイルで過ごした。何時就寝何時起床かのグラフを見てみたい。将来は結婚記念日のお祝いや同窓会の集合地として enjoy していきたい。

- 17.クルーズ船はやはり家族で乗っても充実したものになるが友人や大人数で乗ることによってより楽しさを共有することができるものだと改めて実感した。次回も乗る機会があればぜひ、友人を誘って乗りたいと思う。
- 18.クルーズ旅行に申し込んで本当によかった。3泊4日で、出来てないアクティビティや、イベントがあるので、またクルーズに乗ってリベンジしたいと考える。そして、もっと英語力を高めて、船員さんや他のお客さんと交流を持ち、今後の自分への成長に繋がりたいと思った。
- 19.クルーズ全般の感想としては、素晴らしく満足した旅行でした。自分が期待していた何倍も楽しむことができ、感動を与えてくれる旅行になりました。寝る間を惜しんで楽しむことができ、起きている間ずっと幸せな気持ちにさせてくれた感謝の気持ちが強いです。将来また、この船に乗れるように頑張りたいと思います。
- 20.毎日時間がたつのがあつという間で充実した3泊4日であった。3日目にクルーの方々とのディスカッションの時間を設けていただけことや、食事の注文の際にクルーの方と関わる機会があったことから、英語でのコミュニケーションを取ることの難しさを実感したとともに、会話ができた時の喜びを感じる事ができた。しかし今回のクルージングでは、他の乗船客の方々とコミュニケーションを取ることができなかった。せっかくの国際交流・異文化理解の場であったにも関わらず、自ら行動しなかったことが今回の唯一の後悔である。
- 21.旅行に行く前は不安なことも多かったが、実際乗ってみて不安に感じることは少なく、楽しく過ごすことができた。海外旅行は大学生活最後でせっかくだからという理由で行ったが、また行きたいと思った。本当に振り返ってみると一瞬であり、トラブルもあったが行って良かったなと感じた。
- 22.クルーズの失敗ではなく、旅行を通しての失敗だが、ホテル選びに失敗した。テイラー・スウィフトの影響も多少はあると思うが、高いのに普通のホテルではなくホステルだったり、個室ではあるがシャワーとトイレが同じになっていて日本では見たことのないようなホテルに泊まった。もう少し調べてからホテルを決めたいと思った。
- 23.今回のクルーズは、少し行くか迷った部分もあったが、実際行ってみて本当に良かったと思う。船内での飲食、船内で開催されるイベント、海上での生活、豪華さは、クルーズならではの魅力を感じる要素で、経験できないことなので、本当に良かった。クルーズを通して、更に海外旅行をしたいという気持ちになった。
- 24.今回クルーズ船に乗れてとても貴重な経験ができたので参加してよかったなと思っています。将来のことについて考えるいい機会にもなったし、自分のやるべきこともよく分かりました。今回の経験は忘れられない思い出になりました。たくさんの方々がサポートしてくださって楽しい旅になったので感謝しています。

25.回答なし

26.また機会があればクルーズ船には乗りたい。